

# 因幡志

氣多郡下

十二

和書門			
二九二八六	二二八	三三	類
號	函	架	冊

內閣文庫			和書
二九二八六	三三	七	類
號	冊	函	米

內閣文庫	
番號	和 29286
冊數	33 (13)
函號	175 105

地五三



Kodak Gray Scale

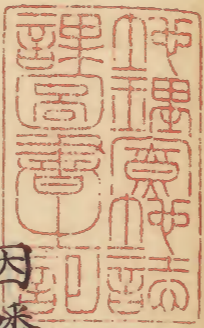
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



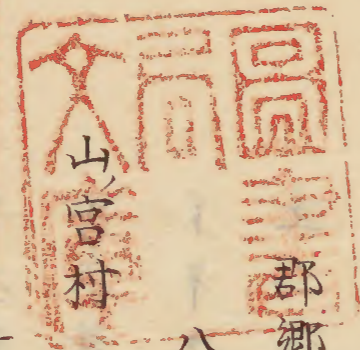




因幡志卷之九 末

内一〇九九二號

因府侍醫安倍 惟親 恭庵編



郡郷部

八幡郷 十個村今増妙力泊爲十一個村

山宮村 田仲 三軒屋 篠尾



戸數五十一軒 辻堂三 本尊阿弥陀 觀音

氏神八幡宮 祭日八月十四日 境内山地豎二

末社 荒神 若宮 大之宮 賀儀取 山神

妙見 山王 以上九神 神主 戸板氏

山伏元光院 三寶院 一汎



篠尾之柵

山名吉川對陣之旧迹

當村ハ勝見谷ノ西大坂谷ノ中程ニアリタバシ西側ノ山下ニツク凡山宮村ヲ以テ氣多郡ノ中央トス山宮ヨリ下濱宇マテノ村ツハキヲハ幡郷トイヒ是ヨリ上河内マテヲ殿村郷トイフ是中世ノ制法ニテ上古ハコノ谷一圓ニ大坂郷ナリ村ノウシロニ篠尾坂トイフアリ山名吉川對陣ノ古戰場ナリユノ坂ヲユエレハ日置谷ノ藏内村へ通シテ

井村カ茶園當村ノ百姓井村覺兵衛トイフモノ代々持

傳ル所四十八町ナリコレハ先祖角兵衛へ亀井武藏守殿ヨリタマハリシナリ其故ハ井村モトハ雲州浪士ニテ亀井殿ヨリ以前ニ當國ニキタリ此里ニスメリフノコロ此辺田圃スクナク平原ノ地多カリシカハ角兵衛所々ニ新田開作シテ幾年ナラスニ福祐ノ身トナリ郷士ノ格式ヲ立テ居ケルトゾ亀井殿ハ尼子ノ支族ニテコレモ出雲國玉作リ湯トイフ所ノ人ナリ故ニ初ハ湯新十郎トイヒケルカ尼子ノ本家沉落ノ、チ生國ヲイテ、コノ國ニ漂落シ井村カ家ヲ頼マレケル井村同國ノ因ミアレハコレヲ養育シケ



ル一懸志ヲ尽セリ亀井殿ツイニ出世アラレテ氣多  
高草二郡ヲ領知シ鹿野ノ城主トナリ玉ヒケル其比  
角兵衛ハ剃髮シテ名ヲ素安トヅイヒケルトカク厚  
恩アル素安ナル故當村ニ於テ四十八町ノ田畑ヲ下  
サレコレニ茶ヲ植テ残老ヲタノシムヘシト有リシ  
トナリ素安ハ常ニ兩刀ヲ帶シ毎度鹿野ノ城ニ伺公  
シケレハ武藏守殿出迎ヒ昔ノ式代ニ違ハス書院ニ  
於テ膝ヲ組テ對應セラレケルトヅカクテ武藏守殿  
卒去セラレ子息豊前守殿ニ到テ石刈津和野へ所換  
アリシトキ當国主光政君へ御頼ニ就テ茶園四十八

町其終井村ガ所得タリ然ルニ二代ノ角兵衛奢侈ヲ  
好ミ身ノ分限ヲワスレカノ茶畑モ相傳ノ田圃モ皆  
質物トナシツイニハ他人ノ有ト成テ零落ノ躰トナ  
リ又ソノ、子武藏守殿百年忌ノトキ其比角兵衛石  
刈へ参リコノヨシ歎訝シケル間由緒アル素安カ子  
孫ナレハ銀子トモヲ下サレ其ウへ亀井殿ヨリ御當  
家へ御頼有テ流レタル質物ノ田畑ヲ本主へ返シタ  
マハリ向後角兵衛カ所持ノ田地質物等ノ取アツカ  
ヒアルニ於テハ無代ニテ返スヘシト仰セリタサレ  
ケルニヨツテ其後何等ノ沙汰モナク今ニ昔ノ如ク



持ツタヘケルトゾ今コノ里ニ多仲三軒屋篠尾十ド  
イヘルエタ村ハミ十井村カ支配下ノ百姓トキコエ  
タリ

橋詰村 竹山 ニツ屋 鉢屋

戸數三十三軒

氏神新宮大明神 在新宮村

村内祭神 荒神二社

山宮ノ下十五町西側ニアリ其間ニ篠尾トイフ山宮

ノ支村アリワレヨリセ町

新宮村 鷺山

戸數十六軒 辻堂 本尊 観音

氏神新宮大明神 祭日九月九日境内山地豎  
三十五間横廿間有神樂所

末社 松神一社 荒神二社

産物 コウ子

橋詰ノ下八町ニアリ西側ニツク村ノ下ニ山路アリ

西ニコユレハ日置谷ノ藏内村へ通シテ十六町十リ

此坂ヲ細工越トイフ難所ナリ按ニ氏神新宮大明神

ハ其マツル巫速玉男。泉津事解男伊弉册尊ノ三神十

リト然ハ熊野ヲ勧請セルニヤ神社有テ後ノ村落十

ル故神号ヲ呼テ里ノ名トスルカ



コウ子 新宮山ノ宮辺ノ陸田ノ中ニ正月ノ比天然生  
ス氣味形容トモニ蘿蔔ニ似テ至テ小キ物ナリ氣多  
ノ土俗ニ大坂コフ子小谷芥トウタフタリコウ子ノ  
文字シレス大根ノ和訓ヲオホ子トイヘハ音ヲ引テ  
小根トイフコ、ロニヤ

會下村 谷家 戸數四十九軒

氏神

村内祭神

茶師堂 号禅入寺

本尊茶師 坐像長一尺 行基之作  
當郡七佛之内 第二番也

古城

新宮ノ下十町西側ノ山下ニアリ伯耆へノ中道通り

ニテ今市ヨリ一里ナリ村ノ後ニ城山アリ村ノ前ノ

田圃ノ中ニ土圍ノ平トイフ構ノ迹アリ天正ノコロ

大坂與十郎ト云シ武士在城セリト當村佐五右衛門

トイフ百姓ハ某末葉ナリ 別卷ニ  
註ス

下原村 鉢屋

戸數三十二軒 辻堂 本尊 觀音

氏神



會下ノ下一町ハカリニアリ下原ハ本名原井午下村  
ナリ是ヨリ奥殿村郷ニ原井午上村アリソレニ相對  
スルノ村名ナリ殿村郷下ニ委シ

郡家村

戸數二十五軒

辻堂 本尊 觀音

氏神新宮大明神

在新宮村

下原ノ向東側ノ山下ニアリ山宮出村三軒屋ヨリ九  
町下ナリ寛文ノ記録ニ高下ニ作ルハ非ナラン郡家

ハ一郡ニ一ヶ所大郡ニハニヶ所モアリ上古王政  
ハノキ郡司館舎ノ地ノ旧迹ナリ當郡ノ内此村ノ外ニ  
コホゲトイフ所ナケレハ此地郡家ノ名残りナラン  
委シク他郡ノ下ニ注ス

高江村

戸數二十一軒

辻堂ニ

本尊 茶師 觀音

氏神

村内祭神 荒神 二社

雁洞山慶樹院

曹洞禪本寺 鹿野讓傳寺

郡家ノ下ニ町ハカリニアリ東ノ山下ニ屬テ下原ト



相向フタリ

八幡村 濱屋

戸数十八軒 辻堂 本尊 阿弥陀

氏神 八幡宮 祭日 八月十五日

末社 二宮 高良大明神 稻荷 荒神 二社

神主 戸板氏

高江ノ下八町許平地ニアリ勝見湯村ヨリ八町トス

西ノ方沙漠ノ上ニ濱屋トイフ出村一軒アリ

八幡宮 村ヨリ一町バカリ北ノ濱地ニアリ土人濱ノ

八幡ト称ス 本社 七方尺 隨身門 長三間横二間 有看花

表 高二間横九尺 境内平地長五十八間横三十九間 但シ

此間數ハ享保六年ノ改書ニミユタリ當社北ノ方ニ

沙山アリ年々クヅレ落ケル故次第ニ社地セマク十

リ今ハ方二十間ノ内外十ルヘシ往古ハ境内二百間

アリシト或説ニ頼朝卿一國一社ノ八幡宮ヲ勸請シ

玉フ其地ヲ八幡ト号スルト今コノ地ヲ八幡郷八幡

村トイヘハ當社モツノトキノ勸請十ルヘシ相傳フ

神位 應神天皇 叱咤大神 神功皇后三坐ヲ祝ヒ

祭ルト社記曰往古社領金錢百三十文又社中ニ尉ノ

面ヲ納ムト又アル説ニ曰尉ノ面ヲ納ムルノ縁起ニ



傳へストイヘトモ申樂家翁ノ傳ニ神功皇后三韓退  
治ノトキ故事ヲ表相スルナラン委シク神道相傳ノ  
旨趣ニアリト又土人口碑ニムカシ北條家全盛ノ代  
社領二百石其外鹿野庄ニ於テ放生會ノ供料ヲ寄附  
アリシガソノ、予擾乱ニ社頭ハ兵燹ニカ、リ神領  
モツイニ没倒ス天正年中藝州ノ毛利家ヨリ宮殿ヲ  
再真シ社領五十石寄進セラレ然ルヲ亀井武藏守殿  
當郡主タリシトキ歿、新田ヲ開地セラレケル其時  
又社領ヲ没収シアマツサヘ古耒相傳ノ境内二百間  
余ヲ新田目論見アリテ宮社ヲ下原村南ノ山上ニウ

ツサレタリツノ、予亀井殿何角心ガ、リノ、ノ、ア  
リケン社地新田ノ沙汰モヤミテ又モトノ歿、宮社  
ヲ造リ社領九石余寄進セラレタリトツノ、予光政  
君ノ御領國トナリシトキ一國一社ノ名神タル由緒  
ヲ聞召レ新規ニ百三十石ノ神領寄附ノ、今ニ村方  
ノ御因帳ニノコリケルト然ルニ其トキノ寺社奉行  
役用繁務ノ故ニヤ新附社領ノ證文ヲ相ワタサス左  
右スル内又御國換ニ因テ御當家御入國ナル其トキ  
寺社領ノ先判御吟味アリシニ當社前代寄附ノ證文  
所持セサルノアヤマリニ因テ百三十石ヲ取上ラレ



新ニ四石余ノ社領ヲ御寄附アリシトゾサレトモ當  
時一國一社ノ神迹モ時ノ盛衰ハ神々ニモノガレタ  
マハス今ワツカニ下原八幡妙カ泊三村ノ氏神トセ  
ルノミ按ルニ土人ノイヘル昔北條家サカレナリシ  
トキ放生會供料トシテ鹿野ノ庄寄附ノ一今男山放  
生大會ノ記ヲミルニ妙樂寺供断所ノ下ニ丹後國鹿  
野庄因幡國蒲生ノ別當ト一行ニ書下セリコレヲ以  
テミルニ疑ラクハ鹿野ノ文字ニヨツテ當國ノ鹿野  
ト混淆シテイフナラズ蒲生別當ハ巨濃郡蒲生郷ニ  
テ郷内馬場村ノ八幡宮ノ故事ナリ委シク邑美郡倉

田ノ八幡宮ノ下ニ注ス

姉カ泊村

戸數二十七軒

氏神

村内祭神 荒神 幸神

短尾 羆見坂

八幡ノ西十五町海濱ニアリ下原ヨリ十二町下ナリ  
伯別街道ニテ母木新町ヨリ三十九町廿四間トイフ  
濱村ヨリ二十一町三十六間トス其間ニ勝見川アリ  
廣五間砂川ニテ徒渡リス海濱ニ短尾トイフ小山ア



リ濱村ト當村トノ坂十リ村ヨリ直ニ坂ヘカ、ル是  
ヲ鷺見坂トイフ坂ノ長サ打越四町余地理志ニ二西  
ヘ越ヒハ姫路村へ通ス土人口碑ニ姉カ泊ハ本姫路  
村ヨリ別レタル新在家十リ亀井武藏守殿トキニテ  
村名ノ下相窺ヒケレハ郡主當坐ニ姫路ヨリ出タル  
ナレハ姉カ泊ト呼ヘシト申サレケルトゾ往來ノ人  
ハ姉カ茶屋氏イフナリ

鶴見坂 姉カ泊ト姫路トノアヒタニアル坂ノ名ナリ  
久シキ名義ニアラス里諺ニ亀井武藏守殿コノ坂ヲ  
通り玉フトキ山下田土ノ中ニ鶴ノアマタ下リ居ケ

ル田ヲ鷺田ト名クベシトアリシヨリ其名ヲ称スル  
トイヘリ其以前ノ名ハナニトイヒケルニヤツタハ  
ラス

姫路村 船磯

戸數百五十六軒

氏神牛頭天皇祭日正月廿五日九月十日  
社領一石八坪

末社 七社 權現 樹木大明神 大將軍 住吉大

明神 龍田大明神 水戸神 道祖神 荒神社三

若宮二社 惠美酒

神主 長田氏



蛭跡堂

本尊茶師像

左不動明王  
右毘舍門天王

窟觀音

在船磯

連理之樹

在同所

姉ヶ泊ヨリ西へ四町半鶴見坂ノ打越ニアリ伯耆街

道ニテ濱村ヨリ二十五町四十二間トス地理志曰三十町十五間

西ノ方山脊ノ十ダレテハルカニ海へイルヲ長尾崎

トイフ船磯トイフ出村アリ獵場ニテ長尾崎ノ東麓

ノ浪ウチキハヨリ漁家数十軒本村ノ方へ建ツバケ

タリ村ノ中ヨリ長尾坂へカ、ル一ノ崎マテ五町余

ワレヨリ六町ばかり坂中へワカレ道有テ海宇へ七

町余リ下レハ夏泊トイフ孤村ノ獵場アリ本道ヲ直

ニ越レハ上青屋へ到テ三十町余ナリ

牛頭天皇村ノ中ニアリ境内平地長三十二間横三十

間本社間方一神樂所横三間昔ハコレヨリ向山崎トイ

フ山上ニ鎮坐アリ今天狗松トイフ松ノ大木アル所

其旧地トイヘリ社傳曰祭神素戔鳴尊ナリ末社七社

權現ト号スルハ大己貴命ナリ一神七社ト称スルハ

コノ命ニ七名アル故ナルヘシ又樹ノ明神ハ祭ル所

三坐五十猛命大屋津姫命杵津姫命ナリト是皆素戔

鳴尊ノ御子ナリ本社ノ祭礼ハ正月二十五日ナリ具

トキ社人鬼形ノ仮面ヲ被リ弓箭ヲ帯シテ天地四方



ヲ射ル作法ヲナス又コノ地ノ風俗兒輩ノタハムレ  
ニモ小方ニ矢ヲツガヒ天ニ向テ射放ツ其事廿四日  
ヨリ明ル廿五日マラ神事ノ終ルヲ期トシラヤメリ  
想フニ陰邪ヲ射殺フトノ表示ナルニヤ是往古ヨリ  
ノ土俗ナリ又畚跡堂ト号スルアリ茶師如未ヲ本尊  
トス今ハ辻堂ナレ氏當時神道習合ノ作法アリテカ  
クモ称スルナラズナラモフカキ神秘モアルヘシ  
舟磯窟観音 舟磯村ノ山ノ岬ニアリ坂道四五十間ノ  
中ボリテ嶮岨ナル所ニ一ツノ洞穴アリロノ方ニ間ハ  
カリサシダシノ茅舎ヲ設ケタリ昔ヨリ観音ノ住所

トイヒ傳ルノミニテ窟中ニ佛像ナシ奥ノ深サ六七  
尺モアラレカ内暗シテミエス日光ノ返照スルニ隨  
テコレヲウカバヒミレハ石ノ圭角ノ如キ白キモノ  
ホノカニミユ不信心ノ者ハ佛体ヲ拝スルヲ能ハス  
信心ノ行者ハ白馬ニ御シ玉ヲ大土ノ妙相ヲ拜スト  
或ハ白馬ニハアラス白衣ノ観音ナリト云テ里諺モ  
一丈セザルナリ村老口碑ニ昔ハ茅舎モ十ク荆棘ニ  
塞リ人ノ往来モ絶タル所ナリシガ百二三十年以前  
姫路村ノ土人コノ山ニ薪ヲ採リケルガアヤマキテ  
数尺ノ絶岸ハヲツ腰脚ヲ毀傷シ肘行膝歩シテ数年



ヲヘタリ其子コレヲ悲ミコノ窟ニ詣テ朝ト夕トニ  
冥助ヲ祈リケルカ其孝心佛陀ノ冥感ニヤ通シケレ  
幾程ナラス本復ヲゾシタリケル其ヨリ病苦ヲ祈リ  
ケルモノ皆以テ靈應過ナラストイフナレトキニ  
貞享四年ノ春ノ比島取城下ニ林雲洞トイヘル醫師  
アリテ姫路舟磯ノ土人ヲカタラヒコノ所ニ一字ヲ  
創建セリ是今ノ草堂ノハシメナリ其比同郷高江村  
ノ禪林慶樹院ノ當然トイヘル道心者ヲシテコノ草  
房ヲマモラシムソレヨリ慶樹院ノ支配トナリ縁起  
モカノ寺ノ住持越泉トイフ僧著述シテ今ニ其寺ニ

アリ委シクハ縁起ニミエタリ

連理之樹 窟觀音ノ堂前左ノ石垣ノ際ニアリ土俗云

山椿ノ古木ナリ樹ノ大サ右根本四一尺八寸許高サ  
左根本回一尺四寸余

凡二間余二樹双ヒ生タル其間ハ寸許土際ヨリ尺四

寸ハカリ上ニテ左右枝サレ合タルアリサマ貫木ヲ

ヌキタルゴトク珍シキ木ナリコレヲ連理ノ枝トイ

フモノニヤ

長尾山 此山ハ大凡氣多ノ中位ニ在テ南ヨリ北ヘワ

タリ姫路ト青屋ト兩村ノアヒタヲ突キ分ケテ海ヘ

イル其出崎数十町ナリ其頂ヲ長尾鼻トイフ山脉河



内村ノ滑石坂ニ相連テ三里ニ余レリ長尾ト号スル  
ハ其故ナリ而シテ東ハ大坂谷西ハ日置谷ナリ土人  
一郡ノ方位ヲ東西ニ分ケテ山東山西トイフハ長尾  
山ヲ標準トスルノナラハシナリサテ長尾ノ鼻トイ  
フハ風景ノ所ニテ舟磯ヲキ遙ニ出テ青屋ノ方ヘ引  
メクル其アヒタセ十町余ナリ巖密ワビヘ石壁ナメ  
ラカニサナガラ画屏ヲ立タルカ如ク怪石巨岩五色  
ニ交リ紅紫碧瑤ノ沓濃ニイロトルニ似タリ或ハ巖  
洞怒浪ヲ吞吐スル所モアリ或ハ見上ルモオボツカ  
ナキ巖ト巖トノアヒタニ幾世ヲカヘタラン松ノ降

杖海上ニ打オホヒテ龍蛇ノ勢ヲナシ水ノミドリニ  
影ヲヒタセルモアリ千状万態絶景キハマリナシ春  
夏ノ比風オダヤカナルニハ漁舟ニウカミ巡遊セン  
モ美観ナリ其名アル所々心ニ覺ヘトバメガタケレ  
バ関ニマカセテ書シルス舟磯ノ漁家ヲハナル、所  
ヲ嶋崎トイフ辨財天ノ小社アレハ弁天カ鼻トモイ  
ヘリ其ヨリ澳ヘ順々松ガ谷一名鷹前コノ山鼻ニ鷹  
住テ巢ヲクフ天正ノ昔秀吉公鳥取凱陣ノトキ伯耆  
ノ南条小鴨兄弟ヲミツギ玉ントテエノ山ヲ越玉フ  
其トキ御秘藏ノ鷹ヲ放タマフ其鷹ニヤ其ノ千年々



子ヲ生シテ今ニタエス大鷹ニアラスシテ真鴨ヲ中  
ニツカムトイヘリ其オキニ 丸尾 大堂カ嶽土人  
ガイ  
タイガ 岩壁アタカモ削リナセルカ如シ水上ノ高サ  
ケトス 三十尋ト其澳ニツバキテ数百尺ノキリギシテ雁洞  
山トナツク絶頂ニ一株ノ喬松アリ其所ヲ寺屋敷ト  
イフ昔雁洞山雲叢寺ト号スル精舎有テ道德堅固ノ  
知識ノ住侍リテ六時ノ勤行怠リ無リシカバ海中ノ  
ウロクス迄モコノ僧ノ徳ニ感通シテ岸根ニキタリ  
アツマル其中ニ鳩雄ノ大鮑有テ岩間ヲツタヒ這ア  
カリテ日毎ニ誦經ヲ聴閱セリト其鮑ノ這タル跡ト

テ蛤蚺ノハヒメクレルヤウニ石壁ニ其迹アリ南北  
ノ水際ヨリ二筋アガリテ縦横ニ斜ナリ其色赤キア  
リ黒キアリ赤キハ雄貝黒キハ雌貝ノ迹トイフ其筋  
ノ大サ舩中ニ見ル所三四尺ハカリ其長サ浪滝トイ  
フ所ヨリ雁洞山ニ至テ凡二十町ハカリナリイカ十  
ル大石決明ニテ如此ソ何ノ昔ノ一ニテ其迹ノ今ニ  
消ヤラヌモフシギナレ其澳ニ 大ツライヒ 小ツ  
ライヒ 三石其オキニ岳水トテ小キ流アリテ滝ニ  
似タリ次第々々ニ山モヒキクナリテ長尾ノハナニ  
イタル其所ヲ真鼻トイフ小キ池アリ長サ五六尺バ



カリ清水ヲタバエテ沙魚蜆ナドヌメリ其水ノアマ  
リテ海へオツル所ヲ池尻トイフ其西ニキリ石大  
入壘ハ通ヒス坂下 鈎切トイフ所ニ額岩トイフ名  
石アリ高七八尺左右クリカタノ如クニテ中ニ轉字  
ニ似タル文字ノカタチアリ故ニ名ク其西ニ狼落ト  
イフ洞穴アリ洞上破レタル所アリテ其所ヨリ狼オ  
チテ死スト其西ニ浪滝其方キへ引メグリタル所ヲ  
肩ト名ク磯ニ水落トテ一条ノ素流アリテ海苔ヲ生  
ス尤モ賞翫スヘシ其西ノ入江ヲ鱣ノ甲トイフ口ノ  
ワタリ 間ハカリ奥へ 十間ナリ青ミトリヲ

生シテ水色黒シコノ所鱣ノ子ヲウムナレバトテ渙  
父泉郎モツノ深サ知ル事ナシトイヘバ心モノニウ  
ゴキテ見ル目モスサマシキ水ノ色ナリコノ鱣ノ甲  
ノ山上ヨリ東ノ方大ワライヒノ上マテヲ土手ノ内  
トイフ亀井武藏守殿トキコノ所ニ大土手ヲツキマ  
ワシ牧野トナシ多クノ馬ヲ養ヒ年々ヨキ駒ヲエラ  
レシトゾ今ニ土手ノカタチモ残レリ其西ニ飯佛流  
ア沖大間 烏帽子岩此間ハ十レ嶋多シ壯觀ナリ  
三ツ目 男根岩ソノ西ノ谷隘ヨリ水滔々ト流レテ  
イル其所ヲ大間トイフ筈泊ノ後ニテ石上平ナル島



アリ佳人モ遊宴スベキ所ナリ其西ニ漕通ニ鱒カ鼻  
其西ニ入リヨミタル所ヲ菱泊トイフ孤村ナレドモ  
桶場ニテ漁舟出入ヲナス谷隘ニ段々ニ家居シテ戸  
數三十軒ニ余レリ惠比須ヲ祭テ氏神トス其西ニ小  
崎赤ダイ高山聳テ風景奇勝ナリ其西ニシテアゲ  
水尻名水アリ塩脇是菱泊ヨリ青屋へ通フ坂口ノ名ニテ  
是ヨリ濱路ニ近シ

日光村 越路

戸數三十一軒

氏神日光大明神 祭日八月十八日

薬師堂 号東光寺

本尊茶師 坐像長二尺 行基作 當郡七佛之内第五番也

左與利之池 下女之池 祈念鼻 櫛カ脇

古城 矢口之陣屋

産物 蒲薦席

當村ハ勝見谷ト坂本谷トノ中間ニアリ其地ヲ日光  
谷トイフ南北ニ通ル其中ニ池アリテ民家ハ池ノ東  
西所々ニアリ皆日光一村ナリ西ノ方勝見湯村へ十  
町鳥越坂アリ 其中阪東ノ方下阪本へ越ルヲ越路坂



トイフ八町余ナリ鳥取ヨリ吉岡湯村ヲ経テ勝見湯  
村へ通フ中道越トイフ是ナリ又鳥越ノ上子ノ坂ヲ  
石ヶ谷トイフ是モ中道通ニテ勝見湯村ヨリ日光谷  
ニ到テ十四町余ナリ日光村ノ上外レニ其ヨリ東へ  
正直ニ越ルヲ坂本坂トイフ下坂本村へ打越七町中  
道通ナリ日光谷東側ノ奥久兵衛トイ又寺谷越トイ  
フアリ日光ヨリ祈念カ鼻ヲ越テ下坂本へ通シテ  
但本道ニ非ス殊ニ冬春ハ祈念カ鼻ニ水湛テ往未ナラス又池ニ菰蒲多ク生  
ス村民刈取之蒲ヲ織テ薦席トスコノ地ノ名産ナリ  
昔ハ佐與利乃池トテ凡コノ谷隘ハ皆沼沢ナリシヲ

慶長年中亀井武藏守殿其池ヲ埋テ新田ヲ開カレケ  
ル今ノ池ハ其トキ埋残シタル迹トイヘリサルニ因  
テ他ノ平田ヨリモ一段低キ故冬ヨリ明ル春ニ至テ  
池水田土ニ満溢シテ大カタ昔ノ佐與利ノ池モ斯ヤ  
アラント思フハカリナリシカノミナラス濱風沙ヲ  
吹テ川脉ヲ没シ洪濤湊ヲ打フサギケル故毎春池ノ  
口ヲ堀通シ堪タル水ノ落タル後ナラデハ耕農ニ便  
リナリガタシ依之年々川普請ノ費多クワレトコレ  
ト指引スレハ収納ワズカニシテ今モ御領主ノ所務  
少シトイヘリ按ルニ日光村ヲ八幡郷ニ属スルコト



イカナル故ニヤ凡古今郷保庄ノ制法ヲミルニ五ヶ  
十ヶノ村ツ、キヲ組合セタル十リ然ルニ日光ハ勝  
見ノ東ノ谷ニアリハ幡郷ハ勝見ノ西大坂谷ニ在テ  
其土地谷ヲヘダテ村々ヲ打越テハ幡郷トスルコト  
不審ノ至十リ想フニ慶長以後ノ新在家ナルヲ以テ  
此ノ如キカ一本ニ坂本郷ニイレタルアリ尤モ然ア  
ルヘキ事ニコソ

佐與利乃池 今イフ日光池ナリ今ノ池ノ廣サ東西三  
町二十間南北七町四十三間周回十九町五十間トイ  
ヘリ然レドモ濱風沙ヲ吹入レ年々狭クナルトコエ

レハコノ間敷モサダカナラス相傳フ上古コノ所ハ  
難波之浦或作南波磯左與利乃湊トテ裏海ナリシトカヤ  
或ハ鹿野ノ津ト号シテ人麿ノ歌モアリト又或説曰  
歌林雅話トイフ書ニ亀井武藏守松永貞徳ニ語テ我  
領分因州ニ人麿ノ社アリ神像ハ女体ナリト然レバ  
モシ此地ノ事ニテモアルニヤサレドモ其社地ノ迹  
トイフ所モ今知ル人十ケレバ不分明烏兎ウツリ易  
テ湊ノ口フサガリ佐與利ノ浦ハ池ノ名ニノコリテ  
昔語トナルモ其日久シキトキコヘタリ日光大明  
神縁ヲミルニ昔コノ所ハ難波ノ浦サヨリノ湊トテ



山陰道往還ノ道路ナリツノコロ禁裡ニ於テ百番  
ノ歌合有テ月卿雲容殿上地下ハ申ニ及ハス日本六  
十余州ニ名ヲ得シ歌人ヲ召シ玉フ其時代雲州杵築  
ノ宮ノ一代ノ国造カクレナキ歌人ナリシカバ勅詔  
下リ日ヲ定メテ詠歌ノ勤番ニ召レケル国造早速勅  
命ニ應シ出雲路ヲ立出テ當国當所ニ着玉フ所ニ此  
湊打フシ洪水ニ水カサマサリ舟モ筏モ叶ヒガタク  
沙頭ニイミ日ヲ空シクシ玉フカクテ定日過行ナバ  
違勅ノ罪ノガレカタクト周章セラレ湊ニ向ヒコノ  
川ノ水神タシカニ関玉ヘコノ洪水ヲ乾アゲ往來自

由ニナシ玉ハラハ我第三ノ息女双ヒナキ美人ヲ水  
神ニ進スヘシトノタマヒケレハ沖ヨリ逆浪立未リ  
湊口忽チニフサガリ白沙平々タル道トナリシカバ  
国造ハイソギ上京有テ結番ノ歌合ヲツトメ殊更勝  
哥ノ勅感ヲ蒙リ雲州ヘカヘリ約諾ノ如ク息女ヲコ  
ノ池ニ入レ玉フツレヨリ後湊ノ口フサガリ数十町  
ノ大池トナルト縁起以下畧ス又鹿野雲竜寺ノ記録ニ曰  
入王八十三代土御門院ノ御宇建仁年中新古今撰集  
ノトキ出雲国北島ノ国造一代命勅詔ニ因テ八月  
十五日ヲ定テ召レケル其トキ雨フリツバキコノ所



洪水漲リ出テ池ト海ト一ツニナリテ通路ヲ絶ス国  
造車ヲトバノ三日ヲ過ストイヘドモ雨猶頻ナリ爰  
ニ於テ国造池神ニ誓ヲナスト畧カクテ十月下浣国  
造ハ雲ニカヘリ三女ヲ見テ或ハ愁ニ或ハ泣ク三女  
父ヲ撫テ其故ヲ問フ父答テ曰水神ニ誓約アリ三女  
ノ内一女ヲ佐與利ノ池神ニ嫁セシメント時ニ上姉  
ハ不肯中女ハ恐レ怖ル末女ハ父ノタメニ嫁セント  
云テ其日大廟ニ入テ菰麻シ衆輿シテ七日路ヲ経テ  
コノ池ニイタリ濱村ノ長十ル濱本氏カ家ニヤドリ  
使ヲハセテ池神ニ證シテアラハセヨサナクハ不嫁

トイヒシカバ池水忽チ波ヲ上ケ雲ヲ走ラス孝女娥  
眉ヲ描キ池頭ニ起クトヒトシク池上ニ風起リ波ヲ  
カエシ輿ヲ拽テ中流ニ入ル扈從悶絶シテ地ニ倒レ  
血ニ泣クトイヘトモ甲斐ナシ終ニ其汀ニ小松ヲ植  
ヘ山畔ニ廟ヲ築テ飯ル今濱村ノ隣邑小谷村ノ観音  
堂ニ安置スル本尊ハコノ孝女ノ護リ本尊トイヒ傳  
ヘタリト此記ニモ時代ヲシルシテ縁起ヨリ委シ故  
ニ畧シテ一説ニ備フコノ説ヲ以テミレバ湊ノ口フ  
サガリ池トナリシハワレヨリ以前ノナナルヘシ星  
ウツリ物寢テ後コノ所ノ領主亀井武藏守殿郡中所



所ヲ點見シテ川沢林藪ニイタルマデ新田ヲヒラカ  
レケルニコノ池ノアリサマヲ見テ池水海ヨリ高キ  
事数尺ナリシカバ新田開地ノ工夫ヲメクラシ終ニ  
日光村ヲ草創アリシナリ其鑿初ハ慶長 年二月七  
日申ノ刻ナリシトカヤ武藏守殿自ラ鋏ヲ取テ池後  
ヲ三度打タマヒテ其鑿ヲ下坂本村ノ庄官助左衛門  
トイフモノヘ下サレケレバ助左衛門ソノアト 五  
鑿打テソレヨリ役夫トモ一同ニ川筋ヲ掘ケル程ニ  
新五郎右衛門トイフ侍ヲ総奉行トシテ夜ニ日ニ絶  
テ山ヲ切り崩シ埋土トナシ難ナク池後ヲ海ヘ掘通

シケレハ按ニタガハス漫々タル池水日ニ減シケル  
已ニ明日ハ堰ヲ切テ一時ニ水ヲ落ントキユエケレ  
バ領主モ見物アラントテ明ル早天ヨリ池ノ辺ニ出  
ラレケルサテ領内ノ老若男女コレハ布代ノ珍事ナ  
リトテ見物ノ群集ニ立錐ノ地モナカリケリカ、ル  
所ニ晴天ニハカニカキクモリ風起リ震動雷電シテ  
坤軸モ裂ルカト肝ヲケス又池中ニ炎迸散シテ劫火  
高屋大度一時ニ焼ルガ如クニオボエタリ見物ノ諸  
人コレタバトニアラズトテ四方ヘクスレ逃散ケル  
武藏守殿コラヘカ子鹿野ノ城ヘ馬ヲカヘサントシ



玉ヒケルガ途ウシナヒ其夜ハ下坂本ノ庄官カ家ニ  
ヅ寄宿アラレケリトカクテ雨ヤミ空モハレケレバ  
人ヲハセテ池ノヤウスヲ見セシメラル、ニ水モ大  
半乾落テ別ノ仔細モナカリケルガ其深淵ニ至テハ  
水ユカサル所モ多カリシトカヤ今ノ日光池ハソノ  
トキ埋残シタル迹ナリトゾサテ七日ノ、チ伏野ノ  
浦ニ異ナル大魚ノ海ヨリハセ上リテ死タルアリト  
注進ス其カタチ比スルニ類ナシ長一丈余鱗甲サナ  
カラ烏貝ノ如ク眼ハ鱗ニ似テ一寸余舌ハ七八寸バ  
カリ腮ヨリ出ツ腹ノ下ニニツノ水搔アリ而シテ背

上ニ藻苔ヲ生シテ鬚髮ノ如シ時ノ人蛇鯨トイフ今  
ニ其図画民間ニ所持スルモノアリト亀井殿自ラコ  
レヲ包下シ玉フニ牛肉ニ合フカ如シ分々段々トナ  
シ村民ニアタヘ食シメラル、ニ其味鱧鮓ノゴトシ  
食フモノ多ク疫邪ヲヤミケルトゾソノ、チ廿一日  
ヲ経テ武藏守殿コ、チ常ナラス数日引コモリオハ  
シテ朝晩ニ餐モヤ、減シケレハ陰陽博士ヲ召ラコ  
レヲ占シムルニ水神ノ祟ナリトサテコソ怪魚ハ池  
ノ主ニテゾアリツラメ幾星霜ヲカ住ナレタル水滸  
ヲクツガヘサレ栖ナケレハ海ヘイラントシテ死タ



ルナラン或ハ亀井殿唐木ノ屋敷トイフ一ト間へ卧  
シ居玉ヒケルカ容顔美麗ノ女房ノ夢トナク幻ト十  
クウラメシゲナル氣色ニテ枕辺ニ立アラハレ一彈  
指ノ間モ離レヤラスナント世ロカマヒスシカリケ  
リトサテ博士ノ勅文ニマカセテ日光池ノ蛇靈ヲ一  
社ノ神ニ祝ヒ祭り具嗔恨ヲナダムヘシトテ蛇王権  
現ト崇敬シタマヒケル亀井家當国在住ノ内ハ社領  
モ十石余寄附セラレテ毎歲祭礼等モ嚴重ナリシ  
其次第委シク縁起ニミエタリカクテ池ノ周回廣キ  
田土トナリシカハ睦畹ヲワリツケ所々ヨリ百姓ヲ

招キ寄セ農作ノ業ヲ始メケルニ元来巨沢ノ埋地十  
レバ一圓ノ沼田ニテ苗代ヲ製スヘキ地ナシ依之下  
坂本ノ内ニテ田地三町田ノ字左衛門ヲ苗代田トシ  
テソレヨリ農業ヲコタリナク諸事下坂本ノ支配ノ  
支村トナリ民戸ノカスモヤガテ二十軒ハカリニオ  
ヨヒケリトフルキ記録ニミエタリ今ハ八幡郷ニ属  
シテ別ノ村高トナリシハ御国換ノ後ノコト、因エ  
タリ

下女カ池 日光谷ノ西ノ方小谷村ノウシロノ沙山ノ  
谷隘ニアリ東西二十間ママリ南北三十間ハカリノ



水タマリナリ昔ハ廣キ池ナリシト里諺ニ右ニシル  
ス出雲ノ国造ノ息女日光ノ池神ニ生贄トナリ玉フ  
時ツキミタガヒ來ケル女房ツノワカレノカナシミ  
ニタエスコノ池ニ身沉テ死ス故ニ下女カ池トイフ  
トイヘリ

日光大明神 池ノ東ノ谷隘ニアリ境内山地長サ六十  
間横四十間森々タル林中ニ鎮坐シ玉ヘリ本社ヘ向  
ヘハ左ノ小社ヲ蛇王権現ト称シ右ハ稻荷ノ社ナリ  
縁起ノ全文ヲ考ルニ慶長年中亀井武藏守殿日光ノ  
池ヲ乾テ新田トシ玉フ其後武藏守殿病腦アリシカ

ハ水神ノタ、リナリト博士勘文ニ拠テ池ノ蛇靈ニ  
科ヲワビ神ニ祀リテ其怒ヲ宥ムヘシトテ新ニ宮社  
ヲタテ、日光大明神ト崇敬ス本地ハ大日如來ノ化  
現ナリ依之日光ノ神ト名ケ奉ルト記セリサテ今ノ  
神迹ヲ拜スルニ本社ヲ日光大明神ト号シ横社ヲ蛇  
王権現ト称ス然ルニ縁起ノ中ニ蛇王権現トイフ神  
号ヲノセズイブカシ尤モ蛇祭ヲ始メタマフトイフ  
トアレドモ是ハ日光社祭祀ノトキ男蛇女蛇ノカタ  
チヲユシラヘ神事ノ道中ヲ子リアリク作り物ニテ  
一社ノ神トハ閱エカタク縁起ト神趾ト相違セリ又



鹿奴雲竜寺ノ記録ニ武藏守殿博士ノ勅文ニマカセ  
テ蛇靈神ニイワヒ玉フ其トキ孝女ノ古廟ヲ再興シ  
左右ニ男蛇女蛇ノ社ヲ建ルトアリ孝女トハ出雲ノ  
国造ノ息女ナリ前ニシルス如ク故有テ日光池ニ身  
ヲ沉メケルソノトキ山畔ニ廟ヲ築クトアル是ナリ  
コノ説今ノ神迹ノアリサマニヨクカナヘリ按ルニ  
日光社ハ国造ノ息女ノ靈神ナルニヤ又別ノ祭神ナ  
ルニヤ其実否明カナラストイヘドモ総シテ地名ヲ  
呼テ神号トシ又神号ヲ呼テ地名トスルモ皆上古ノ  
例ナリ今コノ所ヲ日光トイヒ祭神モマタ其名ヲ称

スルヲ以テミレバ昔ヨリ有来リノ神ナラシカ或ハ  
日光トハ日神ノ外ニハツカハサル神号トイフ説モ  
アレハ往古コノ地ニ日神ノ鎮坐ノアリテ斯ハ称ス  
ル地名ナルモ知ルヘカラズ又土人ノ口碑ニ延享ノ  
末比トカヤ石州津和野ノ領主亀井信濃守殿トイフ  
ヨリ修験者トオボシキ総髮ノ男ノ帯カシタルカ侍  
一人相具シ日光社へ詣来リ初穂トシテ過分ノ銀子  
ヲ獻納シ神前ニ於テ時ウツルマデ祈念ヲナシ而シ  
テ二人トモニ小船ヲ借テ池ノ中程ニ衆出シ舟ヲト  
メ艀中ニテ又シバラク経咒ヲ誦スル躰ナリシガ



懐中ヨリ封シタル物ヲ取出シ水中ニ沉メテ汲リケ  
ルツノトキ日光ノ神主鈴木某ニ津和野へ参レトア  
リシカハ鈴木ハカノ者トモニ打ツレ石州へ伺候シ  
タリケルカ大カタナキ御馳走過分ノ御アヘシラヒ  
アリケルトカヤ是ハ其比信濃守殿江戸ヨリ畝圃ノ  
トキ道中ニテ重病ヲ煩ハセケルガ其トキ博士ノ勅  
文ニ水神蛇王ノタ、リナリトアリシトテ當病平愈  
ヲ祈リ神慮ヲ慰問セラレケル其使者ナリシトツ今  
モ津和野ノ城下觀音院トイフ寺ハ亀井家ノ祈願所  
ニテコノ寺内ニモ蛇王権現ノ社アリ別當ノ外ニ社

人等モアリテ歲時ノ祭礼怠リナシト聞エタリ此等  
ノ説ヲ以テ考ルニ蛇王ノ宮ハ亀井殿新ニ勸請ニテ  
日光大明神ト号スルハ再建ノ神跡ナランカ縁起ハ  
天和三年石舟カ著述ニテ語り傳ル趣ヲ書述ルトア  
リ石舟ハ小泉友賢カトニテ勸請ノ時ノ記録ニアラ  
サル故如此カ

祈念カ鼻 左與利之池ノ南ノ方松林ノ山鼻ノ名ナリ  
亀井殿此池ヲ乾テ新田トセラレケル時此山上ニテ  
祈禱アリシ故祈念カ鼻トイフト土人ハキ子カ鼻ト  
イフナリ



観音堂 日光谷ノ西ノ山下ニアリ本尊行基ノ作當郡

七佛之第五番ナリ東光寺ト号ス

擗カ脇 濱村ノ下ニシルス如ク日光谷ノ西ノ方ヨリ

濱村ノウシロヲ海宇ヘツ、キタル山ノ名ナリツノ

出崎ヲ擗カ鼻トイフ海汀ノ切崖ニテ岩石浪打ギハ

ニ落カサナリ或ハヌケ出落カ、リタルアリサマ危

キ所ナリ母木ノ方ヨリ伯州へ通ル街道ニテ本道ハ

坂ヲコユヘシ峠ニ里堡アリ鳥取ヨリ四里ノシルシ

ナリ或説曰神書ニ日神ノコトヲ隱語ニ奇トイフト

想之日光大明神ノ下ニ注ス如ク日光トハ日神ノ外

ニハ用サル神名トイフモコ、ニ於テオモヒ合スヘ

シ上世日神鎮坐ノ故実アリテクニカワキノ名アル

ニヤ

古城 擗カ脇城ト号ス海濱ノ山ナル故沙ヲ吹アケシ

カクノヲシラス又池後沙漠ノ上ニ矢口ノ陣所トイ

フ所モアレ氏沙漠崩レ構ノ迹トイフモ名ノニニテ

迹形ナシ別卷古城部ニ注ス

殿村郷 七個村



上原村

戸數三十八軒

氏神鷲峰大明神 祭日

當村ハ八幡郷ニ並テ山宮村ノ奥五町ハカリニアリ  
本名原井手  
上村ナリ文字數有テイヒニクキ故畧シ  
テ上原トイフ是ヨリ下八幡郷ニ下原村アリコレモ  
原井手  
下村ノ畧名ナリト或説ニ原井手ト号スルハ  
昔鷲峰社  
繁昌セントキコノ谷ハ内院へ山上スル本  
道ニテ山下ニ垢離ヲトリ祓除ヲ修シ加行ヲ勤メテ  
山上スコレ神道サカニナリシトキ何国ニテモ大社

ニハコノ作法アリ伊勢ノ被川ヲ宮川トイフノ類ナ  
リ鷲峰ノ御手洗ヨリ流レオツル小川アリコレ昔ノ  
被ヲ脩セシ井手川脉ノ村落ナレハ原井手村トイフ  
ナラン原ハ被ノ下畧ニテソレニ上下ヲイフハ兩村  
ニ對スルナリトイヘリ往古ノ一知ルヘカラストイ  
ヘ氏サアル因縁ノ名アルニヤ

下石村

戸數十三軒 辻堂 本尊 觀音

氏神鷲峰大明神 祭日

古城



上原ヨリ向へ四五町東側ノ山下ニアリ田仲山宮之  
十二町上トス鷲峰ノ古佛谷へ七町十リ村ノ上ノ谷  
隘ヲ東ニ通レハ鹿奴讓傳寺馬ノ池ノ側ニ出テ四町  
十リ里ノ名下石ハ土古コノ地ニ大石天降リケレバ  
十リ即チ祭テ神トス祭神国石明神ノ形代是十リト  
イヒ傳へタリ古城アリ讓傳寺ノ山ツ、キ十リサシ  
タル設ニアラス別卷ニ注ス

飯里村

戸數二十八軒 辻堂 本尊 毘沙門 山伏持  
氏神鷲峰大明神

古城 別卷注之

上原ヨリ三町程ニアリ西側ニ属ス村ノ後ヲ西ニ越  
レハ日置谷ノ河原村ノ下へ出ル行程千八百八十二  
間トイヘリ

殿村

戸數四十五軒

辻堂六 本尊地藏阿弥陀藥師二觀音二此内  
茶師堂一觀音堂一各有堂領一斗八升

氏神八幡宮 祭日

同 鷲峯大明神

普瀬井之清水 或作風情



飯里ノ奥ニトナル其間五町程ナリ村ノウシロヲ西  
へ山越スレハ日置谷ノ小畑村へ通ス行程八百八十  
八間トイヘリ是ヲ普瀬井阪トイフ河原村へモ通ス  
昔コノ里ニ紀氏郷トイヘル長者アリ殿村トイフハ  
其人ヲ称誉シテ呼来ル名トイヘリ鹿奴観音寺ノ縁  
起ニ寛弘年中殿村ノ郷士紀氏郷ノ女子正身ノ觀世  
音ヲ拝シテ観音寺ノ本尊ヲ彫刻セリトコエタリ寛  
弘ハ一條帝ノ御宇ニテ今寛政ニ至テ凡八百年ニ届  
ケリ雲竜寺ノ記録ニ氏郷ハ中納言ニテ後任右大将  
父ハ大納言魚石大将氏常ト称ス正暦四年癸巳仲秋

辞右大将入道シテ前大納言ト称シケルカ末持ノ山  
庄其地今謂ニ隱居ス時ノ人末持大納言ト呼フ寛弘  
六年己酉歲入道逝ス同八年嗣息氏郷一條法皇追福  
ノタメ寺ヲ獅子舞山ニ建テ双林山無上大涅槃寺ト  
号シテ法皇ノ尊牌ヲ安シ並ニ紀氏一紉ノ牌位ヲ置  
テ菩提舎トス閑闕者名律ノ比丘ナリトシルセリ涅槃  
寺ノチニ涅槃寺トスイマノ凌泰山雲竜寺コレナ  
リト

普瀬井之清水 村ノ上ハツレ一町ハカリ氏神八幡山  
ノフモトニアリ廣十疊ハカリ深一尺余ノ清水井是



ナリ山下ノ岩根ヨリ涌出ル水勢マタカモ地中ニ川  
アルカ如シ潔白ナルト底ニ徹シテ水十キカゴトク  
冷寒ナルト夏ノ日人コノ井中ニ歩ミメクルト三遍  
スルモノ希ナリトイフ四時水ノ増減ヲ知ラス流下  
大坂谷ノ田土ヲ養フト半ニスクト或ハ是ハ昔鷲峰  
ノ神繁昌ノトキノ御宇洗井ナリトモイヘリ近世亀  
井武藏守殿コノ水賞翫セラレカタハラニ涼亭ヲ設  
ケ夏月ニハ日コトニ納涼アリケルカ井ノ本ノ築石  
ニ心ヲ尽シ自ラ手ヲイレ物好シ玉フト土人ノ口碑  
ナリアル説ニ奇ノ清水トカケリコレハ奇絶ノ名水

ナルトイフニテ斯ハイフニヤト見エタリ然レモ  
古記ニハ普瀬井之水或ハ山ヲ普瀬井坂トアレハ水  
ノ名ノミトモ関エスイブカシ土俗ニ今風情ノ字ヲ  
用ルハ音訓ノ清濁ニ因テ如此カ但シ普瀬井ハ風情  
ノ仮字ナルモ知ルヘカラス又一間ハカリ石ノ方ヘ  
方四尺余ノ廢井アリ中ニ長二尺許ノ自然石アリ是  
ハ亀井殿新十郎トイヒケル此石ニテ刀ヲトギ戰  
功ヲ勵マレケルトワ又土俗ニ婦人乳汁ノ出サルモ  
ノ此井後ノ溝ヲサラエテ側ナル石地藏ヲ祈レハ乳  
出ルト云テ諸人信仰之



小別所村

戸數五十五軒 辻堂 本尊 阿弥陀

氏神 鷲峯大明神

釋迦堂 本尊 釈迦 堂長 四畝

殿村ノ奥五町程ニアリ西側ノ山下ニ属ス小別所トイフハ此奥三十町余ニ別所ト云本村アル故ナリ今ハ河内村ノ字トナリテ別所河内トイフナリ或説ニ別所ト号スル地名諸国ニアリコレハ上古神道全行ナリシトキ其国ノ大社ノ神用ヲ調進セシ所ノ名也

今ニ巨利ノ旧所ノ邊ニコノ地名アルハ其謂レナリ

當社モ當時鷲峰社全盛ノトキ神供ヲ奉リケレハトテ今ニ御旅所ト号シテ祭祀ノトキ神輿ヲコノ村ニ休メ奉リテ供物ヲ献ス是往古ノ例ノ残リシナリトナシイヘリ

釋迦堂 本尊 釈迦 佛長 立像ナリ是ハ上古鷲

峯山ノ法樂舎北ノ坊毫王山法成寺 或曰北ノ本尊ナ

リト又本地堂ノ佛トモイフ其背上ニ文字アリ俱ニ見エス字形ノ残レル如龙

本地和 此間 欠 如選 欠 遠而 欠 梵音神 欠 遠 欠 不 欠 塵



白妙集曰儒醫伊藤丈庵曰強而以私考察見スルニ

本地和光水波一如選佛園遶而不断梵音神光遠照

不厭六塵斯ノ如ク拵ヘテ文字ヲ植テ可見乎其

餘ノ字形無辨白ト云云或ハ佛像探慶流ノ木形金彩

落魄トシテ尊貴ナリト又土人口碑ニ當所釈迦堂免

トイフ田土ハコノ法樂舎ノ旧迹ノ字トイヒツタヘ

タリト

鷲峰村 外火 イガキ 古佛谷

戸數六十八軒 辻堂二 本尊 釈迦 地蔵

氏神鷲峰大明神 祭日九月三十日

社領十六石一斗八升 神主 小宅氏

鷲峰山 御冠嶽 正学石 池此 鯛之鼻

古城 号 狗屍那城

産物 大竹 川藻 川苴

小別所ヨリ 四町余東向フニアリ鷲峰山ノフモト

ニテ鹿野ヨリ南へ二十余町ナリ外火イガキ古佛谷

トイフ枝村アリ當所川藻川苴アリ味他ニ勝レテ賞

翫ナリ村ノ下ニ古城アリ古佛谷ノ城トモイフ別卷

古城ノ下ニ注ス



鷲峰山 氣多ノ東南ニ獨立セル高山ナリ山脊連岡四方ニナダレヒロコリ山樹四時ニ蒼翠タリ北ヲ山ノ表トシ南ハ裏ナリ里諺曰九百九十九谷ト山ノ景象遠ク仰ケハ嶮シ近クミレハユルヤカナリ凡テ八字ノ眉ヲ抹シ上ハ青霄ヲ衝破ス四面ニ縈帯セル峯密ハ兒孫ヲ愛スルニ似テ當山ノ之獨リ一國万仞ノ上ニ秀タリ古人曰名山大川能眞雲致雨刈民コノ山ニ雲アルヲミテ必ス雨フルトヲシル奇異ノ絶境ナリ鷲峰ノ名義数説アリ一ニ神代八千戈神天羽車大鷲

ニ乘テ妻妾ヲモトメ玉フ其トキ此山ニ下リ玉フニ因テ鷲峰ト名ク則八千戈ヲ祭テ神社トスト或ハ天空靈鷲山ヲウツスト又或説曰人王六世孝安帝五年乙亥六月二十四日富士山ト同時ニ涌出ス古曰士峯現スルトキハ七十五岳一時ニツビユ又曰鷲峯ハ七十五岳ノ一数十リト又或ハ上古フモト二十舎ノ坊宇アリ也東坊者今辻堂也櫻谷有南坊今鹿野觀音寺是也小別所有北方今謂釈迦堂也其他不知正迹故二十坊山トイフ説ノ如キハ例ノソラゴトノ中ニモコトニヒガコトナラン三代実録ニ鷲岑又鷲峯ト出タリ



鯛之鼻 鷲峰山西ノ半腹ニ聳エタル横嶺ノ名ナリ外

火村 在鷲峰村之下ノ上ニナタレテ其形周魚ノ頭ニ似タル

故名クト其地山脊平ニシテ山路峻シク麓ニ遠リ所

々ニ分レテ山下ノ里々何地ヨリ登山スルモ此所ニ

到ルベシ尤高峻ニテ一列ノ境内山川海江郷村里ノ

アリサマ直下ニシユ此ヨリ山上一路ナリ鷲峰ヨリ

鯛ノ鼻ニ到テ

鹿奴ヨリ登レハ水谷西谷ノ兩谷ヨリ入テ各二十

七町許也 西谷ヨリ櫻谷ヲヘテ其間谷路十七町登テ

分レ路アリ此ノ坂トイフ右岩ノ觀現ニ通ス左小畑道ニテソレヨリ有徳院殿吉宗公御時夷賊

十町ハカリ躋テ到鯛之鼻

襲来ノ聞エアリシカハ諸国ノ海上ニアヤシキ船影

ノ見エルニ於テハ其國ノ高山ニ狼煙ヲアゲ其烟ヲ

次第ニ見継テ時日ヲウツサス江戸へ注進スヘシト

ノ御内意ニ因テ御領内ニテハ伯耆ノ大山當所ノ鷲

峯山東ハ但馬ノ境ナル扇ガ山ニ燒草ヲ積置キモシ

ヤノトキハ火ヲ放ントノ御用意ナリシ其トキコノ

鯛ノ鼻ニ燃草数多ワミ上ケルトゾ然ルニ賊トシエ

シハ八幡船ニテアリシ由ニテ其後何等ノ沙汰モ止

ミケルトナリ借又鯛ノ鼻ヨリ五町余ノホリテ深林

ニ入ルツレヨリ上十二町ハカリ肘行膝歩シテ池此



ニ至ル道ヨリ右ノ山腹ニワツクニ水ヲタ、ヘタリ  
周回四十二三步昔ハ池水湛々タリシト其地山樹才  
ノツカラタオレクチ葛藤梢ヲマトヒ鬱蒼ト路ヲ没  
ス是當山九分余ニアリテ是ヨリ頂上へ  
山  
巔平ニ方百間ニ余レリ尤モ高山雨無フシテ空翠常  
ニ衣テ湿ヒリ所々壇ヲツキテ神居ノシルニトス其  
數凡テ四十七堆ナリコレ上古純朴神ヲ祭ルニ宮室  
ヲ作ラス只土ヲ封シテ形代トスト崇ムヘシ敬フベ  
シ州中神社ノ旧迹多シトイヘドモ如斯ノ先蹤遺事  
アルハ未知

鷲峰大明神

鷲峰山西ノフモトニ鎮坐ス花表在村裏石柱西

向ヨリ本社へ二町余ナリ相傳フ上古ハ絶巔ニ鎮齋  
ス高山ナルヲ以テ諸人行拜スルニ便リナク桓武  
天皇延暦年中神廟ヲ御冠カ嶽ニ建ル古宮地是ナリ  
其後燹火ノタメニ燔滅シテ又社宇ヲ今ノ谷隘ニ改  
メ造ル于時花園院文保元年九月二十九日ト近世  
元龜年中藝州ノ毛利氏再興之ト然ルニ慶長九年郡  
主龜井武藏守殿故有テコレヲ焼捨ラレ祭事断絶ス  
ル事九年ナリ其時下知状當村百姓三谷同十七年子源左衛門丞持筆記部詳也息豊前守殿又之ヲ再興セラハ其トキ社地ヲ轉ス今



ノ神廟是ナリ本社三方間隨身門横二間奥八尺工匠于  
ヲ尽セリ其外神樂所二間本地堂或曰大日堂鐘樓七方  
尺別社一神横社三十九神本社ヲカコミメクル郡中  
一二ノ大社ナリ社傳曰祭神中殿大已貴命右素戔鳴  
尊左稻田姫三坐ナリト何ノ世コレヲマツリツメケ  
ン或記曰因之驚山ハ靈迹ナリ山ハ士峯ト共出ラ神  
ハ人王八代孝元天皇五年辛卯信濃国ニ兒太神天降  
座又稻葉州金色真聖状形至神寶女神天降座共ニ屯  
斯峯ト然レハ 孝元帝ノ御時始テ祭祀之セルニヤ  
今ニ至テ凡ニ千載其遺蹤紛乱ナシ神階ノ事三代実

録載之上古朝廷崇敬ノ神社也

正學石

御冠カ嶽ノ西ヒラノ上ニアリ御冠カ嶽ハ山八分ノ所也大石ニ  
ナラビ立ツ其上ニ橋ヲカケタル如ク盤石アリユレ  
ナリ石上平ニシテ方二間余ナリ別卷一名未迎石又  
動石トモイフ是ハ昔神佛習合ノトキ山ヲ靈鷲山ニ  
ナヅラヘ本地ヲ釈迦ト習合シテ神躰ヲ相正學ノ佛  
ノ岳跡ト表ルシタルコノ石ノ名トイヘリ來迎石ト  
号スルモソノ其ナラニ驚峯社上古ハ八十末社三十  
五使十九隨身左右ニ聯綿タリトイヒツタフルモ十



九出家三十成道八十涅槃ノ故事ナルヘシカ、ル故  
アル靈石モ神道衰微ノ世ニアレバ其名ヲダニタヅ  
スルモノナキハ嗟歎スルニアマリアルコトバモ十  
リ

除疫禁厭貼符

ワシノヤマユウソノモリノモウノスワ  
ヤマヒヲハラフハ、キ、ノサト

此歌神詠ナリトイヒ傳ヘテ氏子ノ門戸ニ貼シテ疫  
病禁厭ノ護リトス是コノ里ノ土俗ナリ或説ニワシ  
ノヤマハ鷲山ナリユウフハ祭神素戔嗚尊ナルヘシ

此尊ニ三名アリ一ニ神素戔嗚ニニ武素戔嗚三ニ速  
素戔嗚ナリ當社ニ所祭ハ武素戔嗚尊ナラン武素ノ  
音訓ムソナリムソユソハ音通ニテウハ助字ナリモ  
リハコモリ上畧ナリ言意ハ武素戔嗚尊コノ山ニコ  
モリイマストイフ事ヲユウフノモリトイヒツ、ケ  
タリモウノスワハ百俎ノ音通ナラン百ハ數多キ大  
數ヲイヘル調ナリ里諺曰コノ山九百九十九谷トヤ  
マヒヲハラフハ疾病ヲハラフナリハラフトイフニ  
三義アリ一ニハラフニニヤラフ三ニアラフト素戔  
嗚尊ノ一切ノ不淨ヲハラヒ除キ玉フ中臣被ノ詞



ニミタリ此神根國ヨリ現シテ播州白幣山ヨリ王城  
ニ遷坐シ祇園牛頭天皇ト稱シテ天下国土ノ行疫ヲ  
ハラハントノ誓アリシトイフヲ習合ノ神道ニ祇  
園ノ本地ヲ茶王善逝トイフモ茶師佛ニ諸病悉除ノ  
誓願アレハナリハ、キ、ノサトハ今ノ母木ノ里ナ  
ルヘシ此里ノ名ヲ第ニナゾラヘ掃フノ縁語ニトリ  
テ賦スルナラント不分明ト蚕氏爰ニ挙テ一説トス  
按ルニ母木ハ旧村也中古故有テ村ハ字ヲ分裂シ  
テ母木トストノ土俗也可考

鷲峰社祭事不用獅子舞 故事鹿奴獅子舞山ノ下ニミ

エタリ又按ニ旧事記前畧 因斯事八十神急欲殺大已

貴神共議而至伯耆國之宇向山本云赤猪在此山故昔  
共追下者汝待取若不待取者必将殺汝云而以火燒似  
猪大石而轉落分追下取時即於其石所燒著而死矣以上  
想フニ猪鹿トモニ和名イノシ、カノシ、ニテ獅子  
舞ノ獅子トハ異物ナレトモ音訓相同シキ故ニ禁忌シ  
玉フト云ニヤ

當社之氏子不食鯁魚 寛弘六年仲秋當郡ノ知主紀氏  
郷西河ニ渙シテ三尺ノ鮭臭ヲ得タリ銀ノ曲ニ生テ  
寶苺ニ犧ニス氏郷其夜ノ夢ニ愛生好不善不觀吾此



山清淨トアリシカハナラハシニコノ神甕ヲキラフ  
トイツテソノ氏子甕ヲ食ハストイツト白妙集ニミ  
エタリ

當社之氏子不蓄伯耆大山之牛馬 里諺ニ驚峰ノ神ト  
大山ノ智明權現トハ御中ワロク故ニ當社ノ氏子大  
山ノ神ヲ拜セス又大山ノ祭日牛馬ノ市ヲナストイ  
ヘトモ當社ノ氏子其地ニ牛馬ヲ求メスモ求之モ  
ノアレバカナラス神罰ヲ蒙ルトイヒ傳ヘタリ或曰  
両山ノ神軍シ玉フトキ大山ノ神初ニ驚峰ノ神ヲ追  
フ驚峰ノ神山ノ首ヲツカシテ虚空ニ抛リ玉ヒシカ

ハ此神力ニ碎易シテ智明權現大山ニ軍ヲカヘシ再  
ヒ攻未リ玉ハス其抛ル所ノ山巔勝部ノ谷ニコボレ  
テ一ツノ丘トナル八葉寺村ノ側ニ楯山ト号スル是  
ナリ山勢驚峰ノ如ク深山ノ樹草茂盛ス驚峰ノ山上  
楯山ヲ載ル程ノ坦平ナルハ此所以ナリ或ハ其地ヲ  
勝部ト名クルモ其縁ナリト上レル神代ノ一奇事下  
学シテ上達スルカ神道ノ骨目トイフアレハ聊モ  
允智ノ評スル所ニアラ子トモ亦一説アリ大山ノ智  
明權現ハ火神軻遇突智命ヲ祭ル故ニ大山ヲ火神岳  
ト号スルト出雲風土記ニミエタリ火生土トテ火ヨ



リ土ヲ生ス火ハ土ノ母土ハ火ノ子ナリ故ニ神代卷  
曰斬軻遇突智爲三段其一段爲雷神一段是爲大山祇  
神一段是爲高靈ト是ヲ以テ大山ニハ火土ノ二神ヲ  
合祭シテ智明大明神ト号ス智明ハ火上ニ属セル言  
ナリ角盤山大山寺トイフ山号ハ軻遇突智ノ神名ヨ  
リイデ大山ハ大山祇ノ字ヲ折テ寺号トス大山祇ハ  
土神ナルヲ以テ地藏菩薩ヲ習合シテ智明推現ト称  
スルナラン又素戔嗚尊ハ根国ニ坐ストキハ金ノ德  
ノ神ナリ現シテ牛頭天皇ト称スルトキハ木德ノ神  
ナリ故ニ本地ヲ東方茶師如来ト習合ス是ヲ以テ大

山ノ土神ヲ鷲峰ノ木德ノ神ヨリ木尅土ト尅スル故  
ニ兩神中ワロシトイヒ神軍ニ勝玉フトイフ土石ヲ  
投玉フモ金德ノ金ヲ捨玉フ表兩ナラント又或記録  
曰神記曰三德兼鷲峰ニ神神樂曰耳鷲神喬吾長低平  
交而相昵云云鷲神舉而攫山首拋而撫而拔云云世話  
ニ曰三德ト鷲峰ト山上ヒトシクヒトシト想フニ夫  
神不言而自成最可仰ト以上氏ニ奉テ一説トス  
カラ滝 アヲ滝 鷲峰山ノ表鷲峰村ノ方ニアリ流沙  
川ノ水上ナリ又山ノ裏ニ滝ニツアリ是モ一ツカラ  
滝一ツハ天目滝トイフ小畑村ノ方ヘ流レテ跋提河



ノ源ナリカラ滝ハ涸飛泉ニテ常ハ水ナク雨中或ハ  
雪解ノ比ニハ水勢夥シトイフ

河内村 阿弥陀河内 青木原 漆原 中村 上屋 警固屋 矢原 御堂河内 向谷 別所

戸數百二十軒 辻堂ニ本尊勸觀音

氏神驚峰大明神 祭日九月二十九日 矢原村祭之

同 妙見大権現 祭日九月九日 自警固屋到御堂河内祭之

社領六斗

古城ニ要害城在荒神山山下ニ有城主之墓 産物

河内ハ驚峰山西南ノ谷奥ニ在テ其西ノ方ハ伯耆国

河内郡ノ境ナリ土俗氣多河内トイヒ又鹿奴河内ト

モイフ字多ク村々落々谷ノ東西ニ分ル東側ノ詰リ

ニアルヲ阿弥陀河内或寺河内トイフ其ヨリ下ニ順々青

木原漆原中村上谷警固屋或作矢原河内ナリ西側ノ

詰リヲ御堂河内其下ニ向谷或謂別所河内等ナリ

ツガ子テ十個村ノ惣名ヲ河内村トイフナリ驚峰村

ヨリ矢原河内へ十三町矢原ヨリワマリノ阿弥陀河

内へ二十三町ナリ昔コノ谷ニ大寺アリト御堂河

内阿弥陀河内ハ其廢地名残リトイヘリ警固屋ハ昔

伯州三徳山祭礼ノトキ此地ヨリ警固ノ人衆出ケル



故ノ字トイヘリ按ニ鷲峰社往古八十舎ノ僧房アリ  
テ神事ヲ執行セリト今ハ社僧ナキ故迂宮ノトキ三  
德ノ僧未テ鎮祭ス是兩部習合ノトキノ古由トイフ  
想フニコノ里ノ人三德ノ神事ヲ警固セリトイフハ  
昔兩山ノ社僧往來シテ祭祀ヲナシケル故ナラシカ  
治安年中紀氏郷鷲峰社再真ノ棟札今三德ノ三佛寺  
ニ納メ傳フトイヘルモサヤウノ因縁有テノナラ  
ヘシ地理志曰河内ヨリ伯耆國境ニ至テ一里四町三  
十間坂ナリ自霜月到翌年二月中大雪不通人馬自國  
境到伯耆國河村郡俵村一里二十町ト按スルニコノ

境ヲ滑石坂トイフ岬ヨリ田原村ニ到テ九町三十間  
ナリ地理志ノ載ル所大ニ異ナリ疑ラクハ河内ノ口  
ヨリ田原村マテ打越ノ里數ナラン滑石坂ハ警固屋  
ノ向荒神山古城ノ下子ノ谷隘ヨリ入テ坂ニカ、ル  
谷ノ口ヨリ峠ニ到テ二十四町自所踏以ニ最モ急嶮  
ナリ峠ニ三德山境内ノ御制札アリ宝曆年中津田周  
防鶴殿縫殿女乾  
甲斐池田能登池田平是因伯兩列ノ界ニテ是ヨリ美  
藏以上五家之糸目也  
德山ハ五十町也又向谷ヨリ越ルテ佐谷越ト云同郡  
中津村ハ一里十七町馬道ナリ兩國界佐谷峠ト云是  
ナリ或ハ中津越トモイフ



日置奥郷 五箇村

小畑村

漆原 水砂 尾原  
寺谷 勝負谷 小林

戸數八十軒

辻堂四ヶ所本尊

觀音 茶師

地藏 地藏

氏神山口大明神

祭日九月十五日

小畑山清宗寺

曹洞禪本寺鹿奴讓傳寺

古城ニヶ所

日置肥前守之墓

日置郷ハ大坂谷ト長尾山ヲ環テ西ニアリ土俗日置  
谷トイフ是ナリ南ヨリ北ニ亘テ 當村ハ其切

詰ニ在テ以下ハ潮津村

上青屋

ニ至テ十三ヶ村ヲ日置

郷トイフ今ハ奥中下ノ三郷ニ分テリ里諺ニ小畑村

ハ日置谷村落ノ初メトイヘリ右ニシルス漆原水砂

以下ノ名ハ皆支村ニテ東西ノ山下所々ニアリ是ヨ

リ東大坂谷殿村ヘ山道アリ打越二十町普瀬井坂ト

イフ西ノ方勝部谷ノ八葉寺村ヘ越ルヲ小ヨロ越シ

トイフ三十町トイヘリ又伯州河村郡中津村ヘ一里

同ク三徳山ヘ二里ナリ按スルニ日置小沼田トモニ

人ノ氏ナリ日置ハ應神天皇ノ皇子大山守王之後

ヲ日置朝臣ト称ス是上世故有テ其氏ヲ呼来ル地名



ニヤ小沼田ハ當郡之内ニケ所アリ小沼田ノ宿祢ハ  
石上同祖ニテ 欽明天皇ノ御代ニ小田鮎田ヲ墾闢  
ニ依テ小沼田大連ト賜フ是皆姓氏録載ル所ニテ其  
起ル所已ニヒサシ

古城 高尾山ト号ス又カヤ尻ノ城ト云小山アリ又村  
ノ前田土ノ中ニ日置肥前守居城ノ迹トイフ森アリ  
子細別卷ニミエタリ

日置肥前守之墓 高尾山ノ麓ニアリ高五尺許ノ五倫  
ノ碑碣ナリ是ヨリ本丸ハ廿四五町トイヘリ中古此  
地ノ領主ナリシト土人日置殿ノ墓トイヒ傳ヘタリ

猶古城ノ部ニミユ

河原村

戸數八十三軒 辻堂 本尊 茶師

氏神松上大明神 祭日九月十九日 地蔵

産物 階田 美濃紙

小畑ヨリ十町余下谷ノ両側ニ民家アリ但西ノ方ヲ

本村トス此里ヨリモ殿村普瀬井越アリ

山根村 引野 平塚

戸數六十軒余 辻堂 本尊 茶師

氏神山王社 祭日九月十九日



神主 原田氏

高林山願正寺 真宗本寺京都西本願寺

産物 階田 美濃紙

河原ノ下十町余ニアリ但シ東ノ山下ニ属ス引野ト  
イフ支村川向西ノ山下ニアリ昔ハ別村ナリシニヤ  
古キ國繪図ニ此村名ニエタリ當派願正寺ハ龜井武  
藏守殿由緒アル寺ニテ武藏守殿内室ノ長刀予道具  
等アリ別卷ニ図之

早牛村

戸數五十六軒 辻堂三 本尊觀音 地蔵 茶師

氏神大森大明神 祭日九月十九日 社領五石

祭神瀬織津姫命 木花閼耶姫命

佐須良姫尊 以上三坐

延喜式神名帳載之利川神社是也

妙合山蓮花寺 天台本寺馬取淳光院 御祈禱料本八十二俵

船山 鑲山 利川 古城 在供養塚上 別卷記

土産 階田 美濃紙 金鋪紙

山根ノ下向フ西ヘイル小谷ノ中ニアリ其間六七町  
ナリ村ヨリ西ニ越レハ勝部谷ノ八葉寺村ヘ二十五  
町ハカリナリカラカハ坂トイフ又鳴滝ノ神崎村ヘ



坂越一里余ナリ総シテ此辺杖道多ク予引ナクテハ  
容易ニ通ルヘカラスニナコレ長尾ノ山脊ニテ難  
ナリ

利川<sup>リ</sup>氏神大森大明神社前ノ小川ノ名ナリ源ハ菅原  
兒滝ニ發シテ下流ヲ芦崎川トイフ青屋川ニ合シテ  
海ヘイルナリ此川ヲ利川ト号スルヲ按ルニ祭神瀬  
織津姫命ハ被ノ神ナリ其詞ニ速川之瀬干座尔瀬織  
津姫與云神大海原干トアレハ被ノ詞ヨリイデタル  
川ノ名ナルヘシアルハ村ヲ早牛トイフハ速川ノ  
瀬ノ中畧速瀬トイフヲアママリ後世俚民ハヤウセ

トイフヲ文字ニ早牛トカキタリトイフフノ理能ク  
通ス

船山 鑛山 神廟ノ後ニアル險山ヲ船山トイヒ相對  
スルヲ鑛山トイフ是モ被ノ詞ニ大津之澗干居為些  
大船之畧遠方哉繁木之本乎及鑛之利鑛乎以打拂生  
トイフ縁語ヲ取タル名称トミエタリ然レハ上古ノ  
名神其祭リソメケル氏ノ名ナルヘシ

藏内村  
戸數五十軒余 辻堂 本尊 觀音 因幡 順礼 二十  
氏神月日大明神 祭日九月十一日 九番ノ札取也



普門山崇福寺

曹洞禪本寺鹿奴讓傳寺

早牛ト直違テ向ヒ合セ東ノ方小谷ノ口ニアリ其間  
十町ハカリナリ日置谷ノ長サ九十余町ナリ當村ハ  
其フリ分ニ在テ上ハ小畑村へ四十余町下ハ潮津村  
へ四十余町ナリ但シ土人ハフリハケ一里トスル故也  
是ヨリ東大坂谷へ坂道アリ村ノ下午越ルヲ細工谷  
トイフ新宮村ト會下村トノ間ニ通ス其所ヲ祝イ谷  
トイフ行程一里余ナリ又村ノ上ヲモ越へシサレ氏  
頗ル險難ニテ羊腸ヲ蹈テ登ル其屈曲數ヲシラス諸  
木森蔚ト生シゲリタル其梢ヲ脚下ニ見ルモシ顛倒

セハ忽チ無底ノ谿間ニ墮落シテ粉齏トナラン近年  
乱杭トイヘル名譽ノ角力取京都ヨリ飯ルサ倉吉ノ  
方へチモムクトテ此坂ヲ通りケルカ道ヲフミハヅ  
シテ谷ノ底へ落入テ死ケルヲ數日ノ間知ル人無リ  
ケルト天祥院君大坂谷ヨリ日置谷へ山ヲ越シ玉フ  
トキ此坂ニテ御難儀ナサレテ是ハヨモ人間ノ通路  
ニテハ有マシ地獄谷ト名テヨカラズトノ玉ヒケル  
ト土人ノ口碑ナリ近比ユノ村ノ百姓彦兵衛トイフ  
モノアマタノ人夫ヲ費シ九折ノ道ヲ造リカエケル  
故今ハ昔ノヤウニハ非ス又西ノ方勝部谷へハ早牛



村ヨリ越へシ鳴滝村へ凡五十町土人一里トイフ坂

ノ名前ニミエタリ

日置中郷 四箇村

大坪村

戸數三十軒 穢多村

氏神妙見大明神社祭日九月十九日

早牛ヨリ十二町下西側ノ山下ニアリ穢内ト直違向

ニテ其間十町ハカリ十リ穢多村モアリ村ノウシロ

大坪坂アリ勝部ノ支谷露谷村へ打越十六町ナリ露  
ゴシトイフ亀後村へモ通ス山田村へハ三十町ハカ  
リ十リ

奥谷村

戸數三十四軒 辻堂 本尊 阿弥陀

氏神池大明神 祭日九月九日

大坪ノ下十四町ニアリ是モ西ノ山下ニ属ス

山崎村

戸數二十四軒 辻堂 本尊 観音

氏神牛頭天王 祭日九月九日



奥谷ヨリ二三町下隣ニテ小平田村ト山端ヲヘダ  
テ、アリ

養郷村

戸數三十軒 辻堂 本尊 阿弥陀

氏神 白山權現 祭日 九月八日  
社領 一斗六升

薬師堂 在窟中号西生寺

本尊 茶師 坐像長  
當郡七佛之内三番地 行基之作

古城

山崎ノ向フ東ノ山麓ニアリ其相對スル間四五町十  
リ藏内ヨリ下ヘ十三町トス養郷ヨリ朝津村ヘ十町

ナリ村ノウシロ城山アリ其ツ、キノ山鼻ニ白山權  
現ノ鎮坐アリ昔當城ノ鎮守ナリシトイヒツタヘタ  
リ

日置下郷 四箇村

小平田村

戸數十四軒

氏神 荒神

觀音堂本尊 坐像長三尺



古城号藏谷城

山崎ノ下二三町小谷ノ口ニアリ此谷ハ口廣シテ奥  
浅シコノ村ノ外ニ村落ナシ村ノ上ハツレノ山麓ニ  
観音堂アリ疱瘡安護ノ靈佛ナリトテ神符ヲ出ス又  
氏神トモイフ

古城 村ノ上東ノ山上ニアリ藏谷ノ城トイフ後ハ奥

谷村ナレハ奥谷ノ城トイフ

大平田村

戸數八軒 辻堂 本尊 茶師

氏神見取大明神 祭日 九月十三日

観音堂 堂領四斗七升

古城 北鼻清水 大壺畑

小平田ノ下四町余山鼻ノ少シ入コミタル所ニアリ  
是ヨリ潮津村へ八町ナリ

古城 村ノ東西ノ山鼻ニ構エタリ東ハ本城西ハ砦ノ  
迹トミエタリ別卷ニ註ス

北鼻之清水 北鼻ハ右砦ノ山鼻ノ名ナリ北向ナル故  
サハイフナリ其山下道ノ側ニ清水ノシタ、ル所ニ  
ケ所アリ其間相去ル一三四間ハカリナリ西ノ方ノ  
清水ハ昔當城合戦ノトキ血刀ヲ洗ヒケルトテ今モ



此水ヲ飲ハ腹痛ヲヤムトイヒ傳ヘテ之ヲノムモノ  
ナシト  
ハントウ畑ノ右若ノ跡ヲイフナリ享保十四五年ノ  
トカヤ此山ヲ切開キ畑地トナシケルトキ大ナル壺  
ヲホリ出スツレヨリ斯ハ名ルトイヘリ壺ヲサシテ  
イフ<sub>1</sub>當郡ノ土俗ノ土人口碑ニ其壺ノ大サ口ノ徑リ  
ナリ按ルニ飯銅カ土人口碑ニ其壺ノ大サ口ノ徑リ  
七八尺厚リ四五寸其中ニ人ノ骸骨アリ顱ノ大サ凡  
水一斗ヲモルヘシ齒ノ大サ譬諭セハ馬齒ノ如シ土  
人恐怖シ是ハヨモ人間ノ死骸ニハ有マシト云テ本  
ノ如クニヲ、<sub>1</sub>封シタリト郷中其事ヲ語り傳ル者

額ヲアツメ舌ヲ振テ嘆息セリ想フニ人身ノ大小ア  
ル<sub>1</sub>古今其例ナキニモアラサルヘシ只其壺ノ大サ  
未タ之ヲキカス實ニ奇物ト謂ツヘシ予寛政二年ノ  
夏ユノ地ニ至リ土人ヲシテ一阜ヲ發シメ正シク壺  
ヲ得テ見<sub>1</sub>之ニ骸骨皆朽テ白土ノ如キモノワヅカニ  
残レリ壺ハ散々ニワレテ底ノ方三分ノ一分ハカリ  
形ヲ存ス其大サシリガタシトイヘトモ總テ厚サ六  
七分ニスギス是ヲ以テ其大サ準シテ知ルヘシニ十  
虚誕ナリ後未黄吻ノ族是ヲ附益テ豎横ノ説ヲナス  
此類多シ



露谷村 下露谷

戸數二十八軒 辻堂 本尊 阿弥陀

子守大明神 祭日九月九日

露宮大明神 祭日 下露谷祭之

古城号鉢伏城

露谷ハ大平田ノ西ノ山鼻右ニイテ北鼻ヲ南へ廻ル谷ノ名

ナリ日置ノ支谷ニテ其後西ハ勝部ノ谷隘ナリ口ニ

アル小村ヲ下露谷トイフ其ヨリ奥七町ハカリニア

ルヲ本村トス其外ニ村里ナシ村ヨリ大平田へ八町

苔川村へ二十町ナリ又村ノ東へ大口坂アリ本谷ノ

大坪村へウチコシ 十リ西ニ押へ坂アリ勝部

谷ノ亀尻村へ通シテ十六町ナリアルハ堂坂コエ

トモイフ

潮津村 夏泊

戸數 百十軒 軒夏泊 辻堂 本尊 観音

氏神 王子權現 祭日 九月九日

社領 一石三斗五升 神主 宮永氏

同 惠比須社 祭日 在夏泊

清蓮山専念寺 浄土本寺 鹿奴幸盛寺

境内有観音堂 因幡順礼廿八番札所也



御制札場

下露谷ヨリ八九町北海濱ニアリ伯耆街道ニテ上青  
屋トイフ是ナリ舟磯ヨリ長尾坂ヲ打越西へ二三町  
過レハ濱路ヲ下ル所ニ御制場有テ町並ヲナス  
是潮津ノ東ノ口ニテ鳥取ヨリ伯州へ通ル本道ナリ  
母木ヨリ二里五町鳥取ヨリ総テ五里二十六町トス  
但シ芦崎村ノ民家一ツニナリテ一村ノ如シ其旁尔  
ノ境ニ至テハ豎横ニ入組有テ詳ニ速カクシ大凡芦  
崎ハ町ノ半ヨリ西北ノ方ニアリ東南ノ方ハ潮津ナ  
リ土人潮津ヲ上青屋トイヒ芦崎ヲ下青屋トイフナ



リ按ルニ向青屋ノ祭神相屋大明神ノ社記ヲ考ルニ  
青屋ハ即チ相屋ノ神号ヲ称スル地名ニテ今イフ向  
青屋ノ本名ナリ然ルニ川ヲ隔テ潮津芦崎ヲ呼テ上  
青屋下青屋トイフハ故アルトトシエタリ想フニ芦  
崎村ハ淡八幡ノ氏子ナルニ中ニモ相屋神社ニ属セ  
ル民家アリ古十九軒是ニ拠テミルトキハ芦崎村ハ  
元根向青屋ヨリ分レタル出村トシエタリ古キ郷村  
帳ニモ芦崎村ノ肩書ニ古青屋ノ宿トアレハ往古ハ  
両村一名ヲ称シタルト明ナリ東青屋西青屋ト云レ  
ハ其比ノ唱へタルハ又潮津村ノ肩書ニハ古芦崎



ト記セリ然レハ潮津ハ後又芦崎ヲ分タル村名トシ  
エタリ明德記ニ青屋庄トイヒ又古キ記録ハ上郡方  
百姓所持ス前ニ青屋村ト有テ芦崎潮津ノ名ナキハ  
明後ノ前後マテハ一名ヲ呼キタリシ故ナラシ後未  
人民ノ蕃息大ニナリ次第々々ニワカレテ此ノ如シ  
今三村ヲナストイヘトモオシナヘテ青屋ノ称ノ残  
レルハ相屋ノ神号ヲ傳ル名義ノヒサシキ故ナルベ  
シ

夏泊 潮津ヨリ十八町良ノ方長尾鼻ノ谷隘ニアル渚  
村ナリ潮津ノ支村トス此村ノ初ハ亀井武藏守殿ノ

トキ筑前ノ國ヨリ渚父一人来住シテソレヨリ相續  
ノ獵場トナレリ孤村トレトモ今ハ民家三十軒ニ余  
レリ其濫觴ヲ尋ルニ文祿ノ初秀吉公朝鮮征伐ノト  
キ當國ノ郡主モ皆出陣アリシカ亀井殿九州路ニ於  
テ海路案内ノタメ軍船乗走リノ功者ヲ尋子求メ玉  
ヒケルニ筑前國末滑海藻浦トイフ所ニテ名譽ノ渚  
父ヲ情ハレケル名ヲ助右衛門トツイヒケルカ畏テ  
申ケルハ海上往来御船掛引ノトハ一切御任セアル  
ニ於テハ御心易ク候ヘケレ然レトモ此分ノ下郎ニ  
テハ船中ノ裁判ニ於テモシ御人数ノ違背モ候ハ



存分ノハタラキ成カタクトゾ訴訟レタリケレ亀井  
殿道理ニ聞レ召レサアラバトテ即座ニ刀服指元ニ  
鎗ナレト賜リ當分仕官ノ格式ヲ免サレ舩中掛引ノ  
事ニ於テハ助右衛門異見タルヘキ旨軍中ヘフレ玉  
ヒシカバ其ヨリ助右衛門本舩ノ聽先ニ立チ水子柁  
エヲハゲマシ往フサ来ルサノ海路恙ナクツトメタ  
リケル亀井殿其始終ヲ見届ケ玉ヒ甲斐々々シキ奴  
ナリトテ凱陣ノ供シテ領内ヘ参ルヘシトアリシカ  
ハ渙父アリガタクサアラハ旧里ノ世帯ヲ形付御迹  
ヨリ罷越シ候ント御請ヲソ申ケルサテ其後夫婦打

ツレ當国ヘ来リ鹿奴ノ城ニ逗留シ懇意蒙リケルカ  
追テハ其品ヲモ申付ラルヘキナレトモ夫ハ名譽ノ  
渙桶ナリ妻ハ泉郎ノ名人ナレハ先ツレマテハ海辺  
ノ住居然ルヘシ幸ヒ近年亀井殿名ツケ玉ヒシ夏泊  
コソ究竟ノ地ナリトテ此所ヲ切ヒラカセ竹木運送  
ニ至ルマテ領内ノ果役ニカケ仮初ノ屋造リシテソ  
住ツキケル其後武藏守殿卒去セラレ子息豊前守殿  
ノトキ備中一所換ナリシカ助右衛門ハ此所ニ止リ  
ケル其頃マテハ渙家五六軒アリシトカヤ時去リ世  
變リテ来住ノモノ多ク今ハ一群ノ渙村トナレリカ



カル由緒ヲ以テ助右衛門ハ代々儉地ヲ免サレ今ノ  
助右衛門マテ五代相續ヒリトカノ武藏守殿ヨリ下  
サレケル刀脇指ハ中頃別家ノモノヘ譲リケルトソ  
今ハ鎗一本持傳ヘタリ是此村ノ閑祖ナリ此処ハ東  
ハ舟磯姫路西ハ潮津芦崎ナリ其間東西相去ル一ワ  
ヅカニ十余町ナリ然レトモ海涯ノ孤村ナル故ニマ  
総シテ人ノ風俗剛毅木訥ニシテ一向別世界ノゴト  
シ

勝部下郷 三箇村

芦崎村

戸数百九十八軒 辻堂 本尊 阿弥陀  
氏神八幡宮 号湊八幡祭日八月十五日  
社領一石四斗  
御藏所 御茶屋

鎧畑之陣所

土産 丸山若和布

右ニシルス如ク芦崎ハ潮津ト冢ツ、キニテ一村ノ  
如シ但シ町ノ半ヨリ水戸ノ方ニ在テ濱手ハ民家幾  
重トモナク五家七家ツ、ハナレグニナリテ定リタ  
ル町小路ナシ農商コモグナリトイヘトモ多クハ漠



人舟子ノ族スメリ土俗下青屋ト号スル是ナリ此湊  
ヨリ酒津へ海上三里加路ノ津へ五里半伯州泊リノ  
津へ二里ナリ地理志曰自姫路村到芦崎宿二十七町  
三十間濱路此中十五町五十間坂道トアルハ長尾坂  
ノ事ナルヘシ然レ氏長尾坂ハ九三十町ナリ不審但  
古道トイフモアレハ其道ノ事ナルニヤ土人ハ三十  
町二十一間トイヘリ

御藏所 濱子ニアリ總攝ニ並木ノ松生タリ御藏ハ當  
郡ノ内濱村ト當所トニケ所ナリ青屋ノ御藏トイフ  
是ナリ氣多一郡ノ年貢ヲ山東ノ分ハ濱村ニハラヒ

山西ノ分ハ此御藏ニ収ルナリ昔ハ姫路舟磯辺ノ収  
納米モ當所ニ拂ヒケルトソ

鎧畑之陣所 湊ノ西ニ丸山ト号スルアリ但シ芦崎ト  
ハ青屋川ヲヘダテ、向ナリ其山ノツ、キ南ノ方一  
段ヒヤ、所ニ秀吉公ノ御陣營ノ迹アリ是ハ天正九  
年秀吉公鳥取引ハラヒノトキ伯州羽衣石ノ城主南  
条小鴨兄弟ヲ救ヒ五ントテ彼地へ全向シ玉ヲ其  
此山上ニ一夜御宿陣アリシ所ナリ鎧畑ト号スルハ  
山巔ヨリフモトマテ段々ニ切ヒラキ一畝ヅ、四角  
ニ畦ヲ作りタリ山下ヨリコレヲミレハ山勢冑ノ鍾



鍛ノ形ニツハタチ春ノ末夏ノ初メニ至レハ青黄赤  
白ノ色ヲ取マシヘ新ニ緘セル紫下紅ナントイヘル  
鎧ヲミルカ如クナレハ斯ハ名ツケ、ルニヤ太閤記  
ニモ鎧畑トアレハ遠キ昔ヨリ此名ハ有ケルナラン  
北ハ漫々タル碧海ニテ白浪山ノ涯ヲ洗ヒ怪石瓦礫  
トシテ壯觀宛リナシ此所ニ生スル若知布ヲ丸山布  
ト号シテ此地ノ名産ナリ土人口碑ニ此山昔ハ離レ  
山ニテ西ノ方ノ沙山ト其アヒタ余程廣キ谷隘ナリ  
シカ五七十年以来海風砂ヲ吹ヲクリツイニ谷ヲ埋  
ミ西ノ沙山ト連接シテ其界ヲ不知今芦崎ヨリ向青

屋へ通レハ街道ノ右青屋川ノ上ナル山脊凡二町ハ  
カリノ間草木生セス沙漠ノ潔白ナルハ其アトナリ  
トイヘリ桑田碧海須臾ニアラタムルノ久トヘ宜ナ  
ルカナ

青屋村 鉢屋

戸數四十八軒 辻堂 本尊 観音

氏神相屋大明神 祭日九月十九日

三代実録載之相屋神社是也

神主 宇多川氏

隆峯山興州寺 曹洞禅本寺鹿野讓傳寺



古城別卷注之屋某曰墟

芦崎ノ西伯耆街道ニアリ其アヒタ四町五十九間ト  
イヘリ向フ青屋又西青屋トモイフ地理志曰芦崎ノ  
宿ヨリ青屋村ニ至テ三町二十六間街道廣サ一間半  
此中ニ河ニツ芦崎川橋長サ十間横ニ間深サ三尺青  
屋川橋長サ十二間横ニ間深サ六尺ト按ニ土人ノイ  
ヘルト行程同クラズ芦崎川ハ芦崎村ノ西ノ口ニア  
ルヲイフ日置谷ノ流下ナリ青屋川ハ當村東ノ口ヲ  
流ル勝部谷ノサカリニテ末ハ兩河一ニナリテ芦崎  
ノ湊ヘ出ルナリ

青屋之名義 相屋大明神ノ社記ヲ考ルニ天神第六代

青檀根尊一名面足尊吾屋檀根尊一名惶根尊ヲ合セ

祭ルナリ蓋シ取此兩神之佳名得青屋邑之名者歟ト  
アレハ里ヲ青屋ト号スルハ青檀根吾屋檀根ノ尊号  
ニ批テ名ケタルナラシ又神号相屋ハ二神一社ニ祭  
レル故ノ字義カ但シ青屋相屋音通ナレハ青屋ヲ轉  
シテ神号トスルニヤ按ニ凡地名ト神号ト同シキニ  
義ニツアリ諸社トモニ其鎮坐ノ地ノ名ヲ呼テ社号  
トスルハ其地名定テ後勸請セル神ナラシ又神社ヲ  
祭テ後出未タル村里ハ神名ヲ村ノ名ニ呼未ルモ其



例シ多シ右ノ社記ニ拠テミレハ青屋ノ名ハ此神社  
有テ後ニ出来タル村落ナランカ又潮津村ノ氏神王  
子権現ノ縁起ニモ青屋ノ名義ノ下ヲ載ルトイヘ  
其拠不分明総シテ心得カタク氏多ク信用スルニ  
足サレバ爰ニ畧ス

井于村

戸數二十四軒

辻堂

本尊 茶師

氏神 八幡宮

祭日 八月十五日  
号宇佐 八幡

青屋ノ西少シキ谷ノ頭ニ民家アリ伯州街道ニテ青  
屋ヨリ四町四十五間トイヘリ

勝部中郷 四箇村

苔川村

戸數九軒

辻堂

本尊 地藏

氏神 山神

祭日 十一月九日

井于ヨリ南へ八町勝部谷ノ口ニアリ但シ川ヨリ西

ノ山下ニ属ス青屋ヨリモ八町十リ

亀尻村

栗畑

青畑

八幡宮

河詰

戸數四十四軒

辻堂

本尊

阿弥陀



氏神青幡八幡宮 祭日八月十五日

同 伊勢宮 祭日九月廿四日

古城

苔川ヨリ十二町許上東ノ山下ニアリ芦崎ヨリ十八町トス古城アリ別巻ニ記ス

山田村

戸數三十七軒

氏神子守大明神 祭日九月廿八日

龍口山雲昌寺 曹洞禪本寺鹿野讓傳寺

亀尻ヨリ七町ハカリ奥東へ入ル支谷ノ詰リニアリ

村ヨリ西ノ谷ヲ東ニ越レハ八葉寺村へ通シテ二十

町許ナリ

北河原村 下北河原

戸數三十六軒

氏神糟餅權現 祭日九月朔日

虎岳山中興寺 曹洞禪本寺鹿野讓傳寺

山田ノ向七八町本谷ノ西側ニアリ亀尻ノ出村河詰トイフ在所ヨリ八町上ナリ村ノ上ノ山ヲ西ニ越レハ緋見保緋見村へ通シテ十八町トス當村ノ百姓五郎兵衛ト云モノ、屋鋪ハ亀井武藏守殿ノ氏ノ政所



ナリシトイヘリ然ル所以ニヤ亀井自筆ノ掟書ナト  
彼百姓今ニ持傳ヘタリ筆記部  
載之

勝部奥郷 七箇村

鳴滝村 神崎

戸數三十五軒

氏神神前大明神社祭日九月十九日  
社領五石二斗三升

三代實録載之神前神社是也

神主 宇多川氏

総社八幡宮 在鳴滝村祭日  
社領一石七斗八升

修驗寛正院 三宝院一流

北河原ノ奥ニ町ハカリニアリ但シ川ノ両端ニ家作

リス苔川ヨリ三十町青屋ヨリ一里ニ町ナリ村ヨリ

西ノ山ヲ西ヘ越レハ緒見村ヘ十八町ナリ其間妙見

山ニ滝アリ其西ノ方今滝越トイフアリ伯州河村郡

村舎人谷ノ漆原村ノ上外レ茶師堂ノ傍ヘ出テ四十八

町トイヘリ勝部谷ハ長ク九二里當村ノ上十二町ニ

一本松ト号スルアリ是ヲ一里ノ誌トス又村ノ下ニ

神崎トイフ支村アリ其下子ノ道ヲ東ヘ入レハ坂道



アリ日置谷ノ早牛村へ通シテ一里余リ坂道險阻ニ  
テ岬ニ至レハ峯傳ヒニマキレ道多ク予引ナクテハ  
容易ニ通りカタシ

神崎大明神 神崎村ヨリ少シハナレテ下予ニアリ社  
地山下ノ平地ニテ花表ニ神崎大明神ト書リ花表ノ  
内左右ニ老樹ノ並木アマタアリテ森々トモノフリ  
タル境内尋常ノ設ニアラス神階ノ事三代実録ニ載  
之上古ノ名神ナリ社傳曰祭神猿田彦命ナリ此命道  
祖ノ神ナルヲ以テ諸神ノ先ニ立玉フ故神先ノ神ト  
称ス或ハ神前ト書モ同意ナリト按ニ三代実録ニ神

前神社トミエタリ然ハ今神崎ト書ハ誤リナラニ里  
ヲカンザキト名ルモ神号ヲ呼未ルナレハ是モ神前  
村トカクヘキナラン次別卷神社考ニアリ又因式ニ  
委シ

総社八幡宮之由未 社傳曰山名小三郎氏豊ノ靈神ナ  
リト土人口碑ニ氏豊當時伯耆国ノ守護職ナリシカ  
天正八年八月十四日南條元續小鴨元清等ト一予ニ  
ナリ同国河村郡地方村ニ於テ毛利勢ト大ニ合戦ス  
毛利勢一戦ニ勝利ヲ得タリシカハ南条小鴨ハ漸々  
其場ヲ引拂ヒ羽衣石ノ城ヘソ取籠リケル氏豊ハ執



権四、宮源藏トタゞ二人ニ討ナサレ但馬ノ方ヘ落行  
ント深山ヘカ、リ此谷ヘ打越近縣田原谷村ノ百姓  
平助トイフモノ、ウシロノ荻荷畠ノ中ニカクレ居  
ラレケルトソ其トキ村々落々落人アラハカラメ捕  
テ出スヘシト毛利家ノ諒義嚴重ナリシカハ平助ハ  
女房ニサ、ヤギモシサルノアラバトテ情ナキフ  
ルマヒニゾシ玉フオ餓タル人ノ来ラハ食餅ヲモ進  
ラセ旁リテ通スヘシト夫婦語り合ケル氏豊主従是  
ヲキ、借ハナサケアル者氏ナレト悦ヒ玉ヒ裏ノ口  
ヨリヒソカニヲトヅレズ々ノ夏ヲ語テ一飯ヲゾ乞

レケル折節ヨキ食餅ノ無リケレハ粟ノ粥ヲ進ノ懇  
ニ必抱シテ申ケルハ落人ノ吟味稠シク候間夜ニ紛  
レ落玉フヘシ道シルベイダサント其ヨリハ葉寺村  
ノ下チマテ付ソヒケルカ明方ノ空近クナリケレハ  
御室トイフ林ノ陰ニ忍ハセソコヨリ但馬ノ方ノ道  
々ツブサニ教ヘマヒラセ平助ハ帰リケルカ、ル処  
ニハ葉寺村ノ郷士永田肥前守福井與七郎ト云モノ  
落人アラハ討取吉川殿ヘ注進シ過分ノ賞祿ヲ得シ  
ト一族三十余人各隼夫ニ姿ヲヤツシコ、カシコト  
チ分シテ尋子廻リケルカ氏豊カクトハ思奇玉ハス



咽ノカハキケルニヤ林ヲ出テ水ヤアルト間玉ヒケ  
レハ永田福井サテハ儲モノアレト山下ニ手引シテ  
岩モル水ヲ教ヘマヒラセケル氏豊何心ナク水ヲ掬  
シテ飲ントシ玉フ所ヲ後ヨリ鉈刀ニテ頭ヲ討タ  
リケル四宮カクトハ知ラス迹ヨリ来リケルカ此ア  
リサマヲ見テ大ニ驚キモハヤ是マテナリ主人ノ歎  
ノガスマシトイフマ、切テ廻リケルサレトモ歎ハ  
大勢ナリ其上行ツカレタル身ナレハ終ニカナハス  
同シ枕ニ討レニケリ村民イタハシキナリトテ主  
従二人ノ死骸ヲ其所ニ安措シ墓ヲ築テ誌ヲ残シケ

リサテ年経テ後カノ主従ノ怨靈ノ所爲ナリトテハ  
葉寺村ノ土人ニ大ニタ、リヲナシケレハ其忿恨ヲ  
ナダメントテ一社ノ神ニ祝ヒ総社ハ幡宮トアカメ  
ケル初メハ八葉寺村ニ鎮坐ナリシカ其後神託アリ  
シトテ社地ヲ鳴滝村今ノ地ニウツシケルトイヒ傳  
ヘタリカノ田原谷村ノ平助カ子孫今モ當社ノ鍵取  
トスルモ其故ナリト又氏豊ノ脇指トイヒツタヘタ  
ルアリ當村神職宇多川頼母コレヲ所持セリ別卷押  
形ノ因  
リア按ニ民談記又南条民語集天吹  
氏作等ニ此事ヲ載テ曰  
伯州橋津合戦ノトキト云云尤モ異同アリトイヘ氏



大率タガハス民語集ニ四宮源藏ヲ小林ニ作ル而シ  
テ源藏カ相知リタル百姓平助トイフモノ、家ニ一  
宿セラレテ明レハ八月十五日鹿野ノ方ヘコ、ロザ  
ストカケリ又長田肥前ヲ大強盜ノ張本トシ而シテ  
一族三十余人ヲ相催シ主従ノ行方ヲシタヒ追カケ  
落人ノガスマシト声々ニ呼ハリケレハ其時源藏サ  
テハノガレ得ヌ所ゾト立向ヒ主従二人共ニ切合ケ  
ルカ此間ノ合戦ニ浅牛ノ疵ハ数ヶ所ニアリ歎ハ大  
勢二人カ午ニ餘リ終ニ一所ニ討レケルトミエタリ  
又民談記ニ小三郎ハタゞ四五騎ニ討ナサレ深山ニ

カ、リ當国氣多郡鳴滝トイフ在所ヘタドツキ百姓  
ノ家ヘ立ヨリケレハ主心アルモノナリケレハ甲斐  
々々シクモテナシ粟ノ飯ナド進メツ、其夜ハ其所  
ニ一宿シテ又夜ノ中ニ立出山ヲ越テ退レケルニ郎  
従ハミナ散々ニナリユキ唯一人ツキ居タリ然ル如  
ニ在死ノモノトモ薪ヲコリニ山ヘイリケルガマタ  
夜中ヨリ用意シテ二十人ハカリ伴ヒ山坂トモイハ  
ス已カ同志ノ物語シ喚キ叫ビテ登リケル山名ハコ  
レニ膽ヲ消シサテハ在所ノ者一揆ヲ起シ我等ヲ出  
シタテ追カケ来ルトミエタリ連モ死ニ命ヲ闇々ト



百姓トモニ殺サレンモ無念ナリ一人ナリトモキリ  
殺シテ生害ニ及ヘシトテ意得タリトイフマ、ニ刀  
ヲ拔テ立向フ百姓トモコレヲミテ狼籍ノ山賊アリ  
コレハ聞ル昨日ノ合戦ノ落人トミエタリウチ殺セ  
ト匂リツ、大勢鈍刀鉞ヲ以テ立向ヘハ無慚ヤナ此  
人々主従トモニ此死ニテ百姓ノ子ニカ、リハカ十  
ク成玉ヒケル其マ、コノ死ニ墓ヲツキ死骸ヲオサ  
メ置タリシカ其後四五十年ホドヘツ、光政公在国  
ノコロコノ亡魂村ノモノニトリツキ。スサマシクタ  
、リヲナシ巫祝ノ詫宣嚴然ナレハ則コレヲ冬ツト

ビ神トアガメ八幡ノ宮トソ祝ヒケルト記セリ

八葉寺村

戸數七十一軒 辻堂 本尊 阿弥陀

氏神子守大明神 祭日春秋彼岸中日

熊野權現 祭日八月十八日

御室之旧迹 菅原之旧迹 兒カ滝

土産 階田 美濃紙

鳴滝ノ東ノ枝谷ニアリ其アヒタ二十三町ナリ村ヨ  
リ北ヘ山コシスレハ山田村ヘ通シテ二十町ハカリ  
又日置谷ノ早牛村ヘ二十五町ナリコレヲカラカハ



坂トイフ

熊野権現 村ノ下三町ハカリニアリ但シ道ノ側ニ花  
表有テ其ヨリ山下ハ十五六間横五六十間ハカリノ  
平地ナリ而シテ山下ハ平一面ノ石壁ニテサナカラ  
屍風ヲ立タルカ如シ其高十八尋ト其中程巖ノ間ニ  
熊野権現ノ小社ヲ安置ス神躰ハ黄金佛ノ阿弥陀如  
未ニテ其外古刀ニ振神鏡一面ヲ納ムト且ツ其石壁  
ノ下横四十間ハカリノ間空洞ニシテ平地ヲ相去ル  
事奥ハ二三間其高一間或ハ二間或ハ五尺三尺ノ深  
モアリ其処ニ丐食トモ住居シテ竈ヲ造リ地爐ヲ設

ク希有ノ絶境ナリ 別卷  
之

御室之旧迹 村ノ下外レノ山ノ名ナリ昔高野山ヲ移  
シタル所ニテ廣大無量ノ靈場ナリシトカヤサアル  
ニ因テ山下ニ五輪ノ碑碣幾百千トイフ其數ヲ不知  
アリシカイツノ年ノ事ナルニヤ午ノ歳ノ洪水トイ  
フニミナ押流シテ其アト今ハ川脉トナリテ彗ノミ  
ノコレリカノ氏豊主従ノ古墳モ其処ニアリシカ今  
ハシレスナリヌト御室ノ少シ上ニ如未堂トイフア  
リ迂堂ナリ本尊石ノ于折レテオハス靈佛ナリトイ  
ヒ傳ヘタリ



菅原之旧迹 村ノ奥三十町ハカリ此谷ノ切詰ニテ樹  
木陰森ノ地ナリイツノ世ノ一ニヤ菅家ノ貴族ユノ  
如ニ住玉フ故カクハ呼ナラント云傳ヘタリ其如ニ  
硯石トテ方一間余高四尺ハカリノ怪石アリ形硯ノ  
如ク中クホミテ濁水アリ故ニ名ク或ハ菅原氏ノ人  
住居ノ片コレヲ硯トナシテ物書玉フト云ハ菅原ト  
云ニ附會シテイヘルナリ  
兒カ滝 コノ山ノ東ウラ日置谷ノ早牛村ノ方ヘ流レ  
落ル小滝ナリ昔伯州三徳山三佛寺ノ兒イカナル子  
細ノアリシニヤ此滝坪ニ身ヲ投ケ死ス故ニサハイ

フトイヘリ

田原谷村 平林

戸數二十八軒

辻堂

本尊觀音地藏  
地藏

氏神妙見大明神

楯山

八葉寺村ヨリ十町ハカリ本谷ノ西ノ山下ニアリ平  
林トイフ出村アリ當村ト鳴滝村トノ境ノ谷ノ中程  
ニ氏神妙見鎮坐ノ山アリ楯山トイフ其少シ下西ノ  
谷ヲ西ニ越レハ伯州河村郡地方村へ通シテ一里  
町也<sup>十</sup>ハナリ松寄へ往來ノ馬道ニテコレヲ向谷水越坂<sup>四</sup>



トイフナリ當村百姓平助トイフ者ノ屋鋪ノウラニ  
山名氏豊ノカクレ居ラレシカノ茗荷バタケ今ニア  
リ

楯山 右ニシルス妙見鎮坐ノ山ナリ一名小丸山昔鷲

峯ノ神鷲山ノ巔ヲ攫テ抛リ玉フキ此地ニ盈レテ一

ノ小山トナル其縁ニテ深山ノ樹草ヲ生シ山勢鷲峯

山ニ同シト云傳ヘタリ

紙屋村 竹内 河原 沢村

戸數五十軒 辻堂三 本尊十王阿弥陀  
茶師

氏神

兜卒山弥勒寺 天名本寺鳥取淳光院  
御祈禱料本入十二俵

田原谷ノ奥五町許ニアリ支村三ヶ右ニ注ス按ルニ

古キ国繪図ニ竹内河原沢村三ヶ村別々ニミエタリ

今辻堂モ三所ニアレハモトハ皆別村ナリシモノカ

民家川ノ両端ニアリ

楠根村 山根

戸數四十三軒 辻堂二 本尊茶師  
地藏

氏神賀滝大明神 或作吉滝祭日九月十一日  
社領ニ石一斗九升三合

紙屋ノ奥三四町ニアリ同シ側ニテ少シ南ノ山下ニ

属ス民家川ノ両方ニアリ



澄水村 今西

戸數五十軒 辻堂二 本尊觀音 茶師

氏神賀滝大明神 在楠根村

同 室大明神 當村鎮坐 賀滝明神之本社也 祭日九月十日

楠根ヨリ四町川向フ東ノ山下ニアリコノ奥ニ町ハ

カリニ今西トイフ支村アリ古キ国繪ニハ別村トシ

エタリ

桑原村 寺内

戸數五十軒 辻堂三 本尊觀音地藏 茶師

氏神賀滝大明神 在楠根村

同 荒神 當村鎮坐

土産 鼻紙

澄水ノ奥五町許ニアリ勝部谷ノ切詰ニテ此ヨリ奥

ニ村落ナシ村ヨリ西ノ山ヲ越レハ伯耆國河村郡川

上村へ通ス此道ヲ川上越トイフ地理志曰自桑原村

到国界二十町十七間此間坂也道廣二尺爲險阻自十

二月到翌年正月大雪不通人馬自国界到川上村一里

四町云云又地圖ヲ考ルニ桑原村ヨリ川上村ニ到テ

二里一町十七間ナリ地理志ノ所載ト不同土人曰桑

原ヨリ川上村へ打越 川上村ヨリ松崎へ到



テ二十六町余ナリ此道ヲ三十町許リ行テ麻畑トイ  
フ所アリ是ヲ松崎ノ松軒越ト云フ松軒ハ医師ノ名  
ナリ松崎ニ住シ  
テ常ニ此処ヲ通りケ  
ル故斯云トイヘリ

緒見保 二箇村

長和瀬村

戸數四十八軒 辻堂 本尊 茶師

氏神荒神社 祭日九月九日

東向山大寶寺 真言本寺鳥取円城院

當村ハ勝部谷ノ西緒見谷ノ口海濱ニアリ伯耆街道  
ニテ因幡國西ノ詰リナリ地理志曰自井手村到長和  
瀬村十町十五間濱路此中九町二十間坂道廣二間又  
五町坂道廣二間ト云云按ルニ井手ヨリ長和瀬ニ到  
テ十町十五間トシテ此中坂ニツニテ十四町トイヘ  
ルハ町數不合イブカシ土人ノイヘルハ井手ヨリ長  
和瀬マテ十四町五十五間ナリト疑ラクハ地理志十  
ノ字下ニ四ノ字ヲ脱スルナラン又村ノ西因伯ノ境  
ノ山ヲ西坂トイフ峠ニ兩州境ノ標木アリ地理志ニ  
自長和瀬到伯耆國界三町四十間濱路里數凡六里十



二町六間按自鳥取城本也 自国界到伯耆国河村郡小濱村十

町トアリ土人口碑ニ村ヨリ岬マテ五町四間岬ヨリ

小濱村へ十三町トイフ地理志ノ所載ト不同今土人

ノ説ニ從フ當所産物円坐海苔アリ又磯ニ青海苔ヲ

生スル嶋アリ昔ヨリ是ヲ知者無リシカ宝曆初比當

村大宝寺ノ住職春兼法印トイヘル僧初テ是ヲ知り

渙父ニ命シテ是ヲトラシム味耳美ニシテ上品ナリ

然レ氏小嶋ニテ多ク生スルナシ年是ヲ採テ菜用

トシケルカ彼法印本寺円城院へ轉住ノ後ハ其沙汰

ヲ聞カス

緒見村 引地 千龍寺

戸數四十五軒 辻堂 本尊 阿弥陀

氏神幡井大明神 祭日九月二十六日

延喜式神名帳載之幡井神社是也

薬師堂 号千龍寺

本尊 薬師如来 坐像長二尺九寸 氣多郡七佛之第一番也

長和瀬ヨリ南へ入ル谷奥二十四町ニアリ因伯兩列

境ノキハニテ村ノ西一町ハカリ幡井神社ノウシロ

ニ當テ伯列河村郡筒地村ノ民家ニ工其間ワツカニ

三町田圃ノ中ニ兩列ノ境アリ引地千竜寺トイフ支



村ニケ所アリ千龍寺ハ東南ノ山中五六町ニアリ引  
地ハ村ヨリ西ニ在テ其間ニ小山ノ鼻隔タリ引地ヨ  
リ河村郡舎人谷ノ小方村へ越ルヲ河舎越トイフ行  
程四十八町馬道ナリ又東へ越レハ勝部谷へ通ス北  
河原鳴滝神前等ノ村々へ越ルヲ千龍寺越トイフ坂  
ノフモトニ千龍寺道ニルへノ石碑アリ其ヨリ三四  
町登レハ山ノ右手ニ千龍寺ト号スル一草庵有リ本  
茶師行基作所謂氣其庵ノ前ニ分レ道アリ道ヲ問へ  
多郡七佛第一番也其庵ノ前ニ分レ道アリ道ヲ問へ  
シ但シ鳴滝神前へハ左ノ道ヲ行へシ坂道險阻ニ山  
樹鬱蒼トシテ岬ヲ西へ下レハ支道アリ大丸石へ行

へシ北河原村へ下リコムナリ是勝部谷ニテ其川向  
東ノ山下ニ神前村アリ結見ヨリ二十四町トス鳴滝  
ハ神前ノ本村ニテ少シ上ノ手ニアリ按ニ結見保ニケ  
村ヲ勝部中郷ニ属セル記録アリ和名鈔結見ノ名ナ  
シ然レハ往古ハ勝部ノ郷内トミエタリ又按スルニ  
氏神幡井神社ハ延喜式神名帳ニ所載ノ上古ノ名神  
ナリ神号幡ト機ト和訓相同シ今コノ地ヲ結見ト号  
スルハ機ノ縁ニ拠テ名ルモノカ社傳ニ云神詠ノ和  
歌トテ 神垣ニツキセヌハタヤキヌタテ、三ツノ  
マモリヲアタヘミセツ、トナレバ神社有テノ千ニ



出未タル村里十ルヲ以テ古書ニ絹見ノ名ノセザル  
ニヤ





